

津市環境基本計画  
令和元年度 年次報告書  
(環境白書)

令和2年 11 月

津 市

# 目 次

## めざす環境像に向けた施策の展開（第4章）

### 《環境目標1》「自然と調和した恵み豊かな環境」の取組

- (1) 自然環境の保全
  - 山と川と海のネットワークの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
  - 生物多様性の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
  - 里地・里山・里海の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- (2) 公益的機能の維持増進
  - 森林環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
  - 農地環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

### 《環境目標2》「資源が循環する社会環境」の取組

- (1) 資源循環の推進
  - 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進・・・・・・・・13
  - ごみの適正分別と収集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
  - 不法投棄の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
  - 廃棄物の適正処理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- (2) 新エネルギーの適正な普及
  - 新エネルギーの利用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
  - 温室効果ガスの削減対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・25
  - 省エネルギー対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

### 《環境目標3》「快適で暮らしやすい生活環境」の取組

- (1) 衛生的な生活環境の保全
  - 空き地・空き家等の適正管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
  - 愛護動物の適正飼養・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
  - 公害の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
  - 生活排水対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
  - 市営墓地の適正管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
- (2) やすらぎを感じる生活空間の形成
  - 緑の保全・創出と水辺環境の保全・・・・・・・・・・・・・・43
  - 良好な景観の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
  - 歴史文化財産の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

## 計画の実現に向けて（第5章）

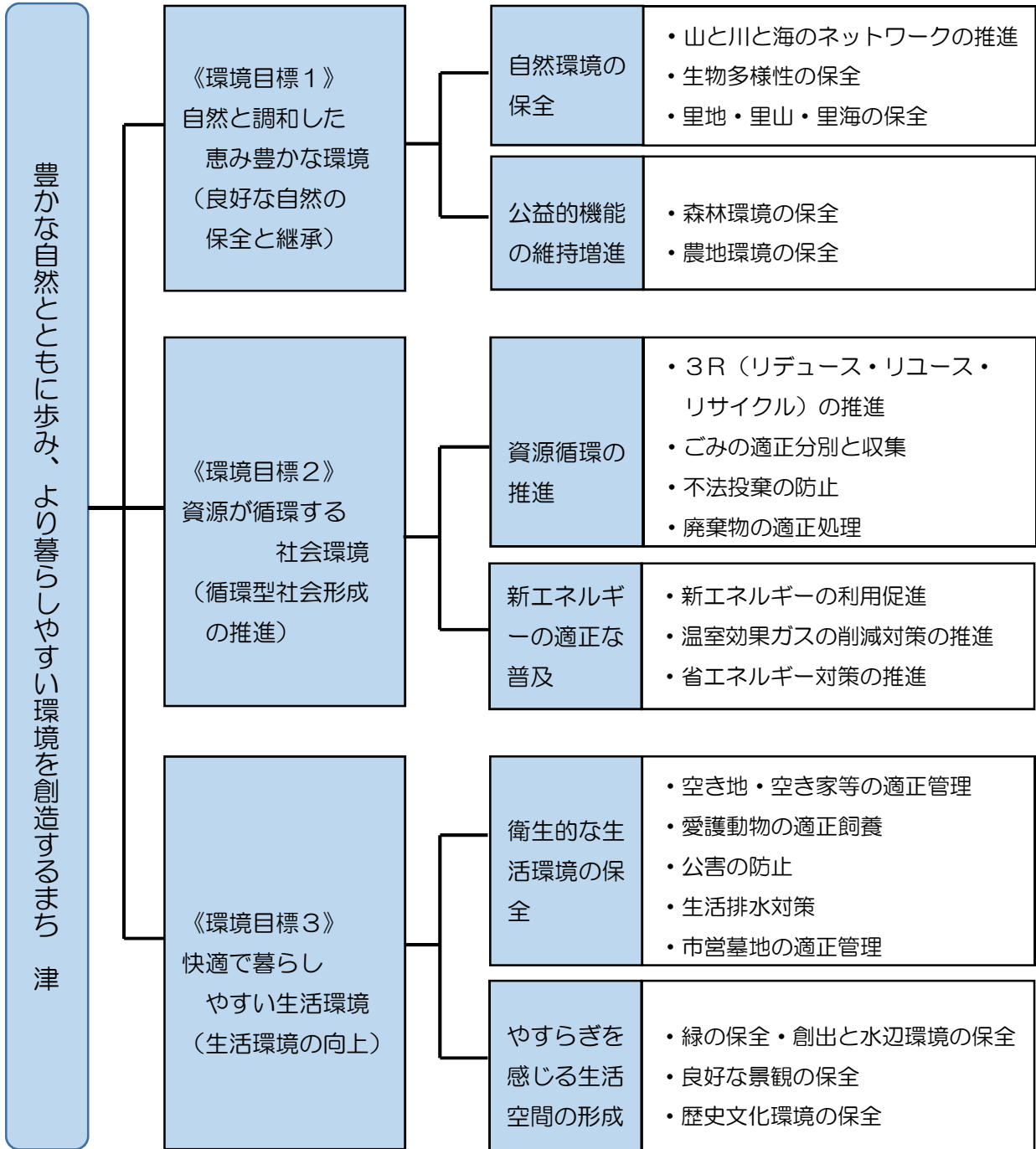
- 1 市民の環境意識の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
- 2 協働による環境活動の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
- 3 環境への負荷の少ない事業活動・・・・・・・・・・・・・・54

# 津市環境基本計画の施策体系

めざす環境像

環境目標

取り組む施策



## 計画の各施策における令和元年度の実績

### 1 《環境目標1》「自然と調和した恵み豊かな環境」の実績

#### (1) 自然環境の保全

##### 《山と川と海のネットワークの推進》

ア 市民、ボランティア、NPO、事業者、行政機関などのネットワークを強化し、地域特性に応じた環境保全活動を促進し、森林や湖沼、河川、海岸などの自然環境の保全や野生生物の生息、生育環境の保全に取り組みます。

##### 【令和元年度の実績】

ア)

##### ① 環境保全活動団体等との連携

資料編P1

山から海までの自然環境の保全と各地域の住民とのネットワークづくりのため、新雲出川物語推進委員会を主体として雲出川流域を中心に事業を実施しました。

夏休み期間中に開催した香良洲海岸での清掃活動は、親子 282 人の参加があり、海岸のごみ拾いの後、魚つかみ体験などを行い楽しい体験を交えて交流しました。

また、「リバーパーク真見エコウォーク」では、世界かんがい施設遺産に登録された南家城川口井水周辺を清掃しながら歩き、地域の文化的遺産にも触れる機会となりました。

##### 【令和元年度実績】

事業名	参加者数
香良洲海岸清掃活動	282 人
リバーパーク真見エコウォーク	53 人
環境基礎講座（全5回）	10 人
波瀬地区植樹祭 ※波瀬まちづくり協議会との共催	130 人

##### ② 津市エコサークル事業の実施

ボランティアの高齢化が進み、活動の継続が困難になりつつある、また、横のつながりがなく広がらないなどの課題を解決するため、ボランティア活動をしている団体や個人が交流できる「津市エコサークル事業」を令和元年度から始めました。

##### 【評価・課題】

香良洲海岸で清掃活動は、例年多くの参加があり、奉仕活動と自然に触れる体験ができる体験型イベントとして好評です。

また、リバーパーク真見エコウォークは、川の清掃をしながら、山の紅葉や世界かんがい施設遺産に触れることができ、豊かな自然を体感できる機会となりました。

津市エコサークル事業については、たくさんの人の目に留まり、ボランティアに関わる人々が増えるような取組にしていく必要があります。

**【今後の取組】**

山・川・海のネットワークを推進するため、雲出川流域の自然環境の良さを情報発信するとともに、市内で活動する様々な団体等とのネットワークをによる事業を継続していきます。

本市は青山高原をはじめとする山々、雲出川などの多くの河川、南北に延びる海岸線など豊かな自然環境に恵まれていることから、これらの豊かな自然を活かし、環境教育・環境学習に取り組めます。

また、津市エコサークル事業については、ボランティア同士の交流を促す場となるよう、市ホームページ等を通じて情報発信を行います。

## 《生物多様性の保全》

- ア 開発行為を計画する際には、地勢、流域、生態系などそれぞれの地域特性を踏まえ、自然環境に配慮するよう指導していきます。
- イ 従来の生態系を守るため、外来動植物の適正管理の必要性を啓発していきます。
- ウ 野生動物の生息数の増加・減少について、市民や関係団体と連携し、情報収集に努めるとともに地域ぐるみの取組を促進します。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

- ① 開発行為者への助言、指導等（環境アセスメント制度に基づく開発行為への意見出）  
事案により、それぞれの地域特性を踏まえ、自然環境に配慮するため、開発行為者への環境アセスメント制度に基づく環境の保全の見地から意見書を知事に提出しました。

#### 【令和元年度実績】

事業名等	意見提出日
(仮称) 平木阿波ウインドファーム事業に係る環境影響評価方法書	令和元年5月27日
(仮称) ウインドファーム津芸濃事業に係る環境影響評価方法書	令和元年5月27日
津市波瀬太陽光発電所造成事業に係る環境影響評価準備書	令和元年8月20日

イ)

- ① 三重県等との連携による情報収集・共有・啓発（外来種別、生息数等）  
三重県と連携し情報共有を行い、5月1日発行の広報津により特定外来生物に関する啓発を行いました。

#### 【令和元年度啓発内容】

啓発内容	
テーマ	生態系に被害を及ぼす特定外来生物にご注意を！入れない捨てない広げない
特定外来生物の例	ブルーギル、ブラックバス、アライグマ、カミツキガメ、セアカゴケグモ、オオキンケイギクなど
外来生物被害予防3原則	①入れない：悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本へ入れない ②捨てない：飼っている外来生物を野外に捨てない ③広げない：すでに野外にいる外来生物を他地域へ広げない

ウ)

- ① 三重県等との連携による情報収集・共有・啓発（希少種別、生息数等）  
三重県から本市に生息するカワラハンミョウの調査について情報提供を受けました。  
また、環境省から三重県を経由して特定外来生物であるヒアリに係る情報提供と啓発用パンフレットの送付があり、同パンフレットを配架するなど市民への啓発を行いました。

## ② 市民活動団体等の活動紹介

市民活動団体等の活動を後援し、野生生物等の生息地の保全に努めました。

## 【令和元年度実績】

市民活動団体等	活動内容	開催日
ウミガメネットワーク	中河原海岸清掃（津市後援）	平成31年4月14日
白塚の浜を愛する会	(1)海浜性昆虫観察会（津市後援） (2)ウミガメ学習会及び水質調査（津市後援） (3)バッタ調査会及び海浜性昆虫観察会（津市後援）	(1)令和元年5月3日 (2)令和元年6月16日 (3)令和元年10月20日

## 【評価・課題】

外来生物に関する相談対応、特定外来生物に関する啓発等を行い、従来の生態系の保全に努めました。

また、市民団体等の海岸清掃等を後援し、自然環境の保全に寄与しました。

## 【今後の取組】

生物多様性の保全を推進するため、今後も三重県等との連携による情報共有を図るとともに啓発活動を行い、従来の生態系の保全に努めます。

また、開発行為に対しては、環境に配慮するように環境アセスメント制度に基づく指導を行います。

## 《里地・里山・里海の保全》

ア 里地・里山は、木材など自然資源の供給、身近な自然とのふれあいの場、そして、様々な動植物の生息・生育場所などとして様々な恵みをもたらす大切な財産であることを情報発信し、理解を深めることにより、里地・里山が保全される仕組みづくりに努めます。

イ 本市の美しい海岸、自然の動植物の宝庫である里海について、情報発信を行い、豊かな海辺環境の保全に努めます。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

#### ① 自然学習イベント事業（ホタル観察会等）

資料編P3

自然環境・生活環境を保全していくためには、一人ひとりが環境への理解を深めることが大切なため、身近な場所での環境教育を推進し、市民の環境意識の向上を目指すため、小学生等を対象にホタル観察会、環境月間記念植樹等を実施しました。

#### 【令和元年度実績】

名称	実施場所	開催日	参加者数
ホタル観察会	片田薬王寺町地内	令和元年6月8日	37人
環境月間記念植樹	リサイクルセンター併設自然観察の森	令和元年6月23日	61人
水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	天候不順のため中止	—人
親子昆虫観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	令和元年8月11日	39人
アサギマダラ観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	令和元年10月13日	14人
自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	令和元年10月26日	21人

#### ② 自然ガイドブックによる啓発

市内の多様な自然を身近に親しんでもらうため、「つし自然ガイドブック」を活用した自然観察会を実施しました。また、つ・環境フェスタや津市ホームページで「つし自然ガイドブック」を紹介し、津市の豊かな自然や多様な動植物等について情報発信しました。

イ)

#### ① 自然学習イベント事業

令和元年度に環境部における自然学習イベントの見直しを行い、里海に親しむイベント事業として令和元年度に「田中川干潟生き物観察会」を実施しました。

#### 【令和元年度実績】

名称	実施場所	開催日	参加者数
田中川干潟生き物観察会	田中川干潟付近	令和元年7月28日	47人

#### ② 自然ガイドブックによる啓発

つ・環境フェスタや津市ホームページで「つし自然ガイドブック」を紹介し、津市



の海岸や砂浜の多様な動植物等の情報を発信しました。

### 【評価・課題】

ホタル観察会では、開催日前日が大雨（降雨量合計 46.5mm）、当日も風が強く吹く状況とホタルが飛翔しにくい条件になったため、参加者数が前年度（平成 30 年度）と比較して大きく落ち込む結果となりましたが、参加者からは講師への積極的な質問が見られるなど環境保全に対する意識の高さが伺えました。また、天候不順により中止となった水生生物調査学習会を除く他の自然学習イベントにおいても、例年並みの参加者数がある中、ホタル観察会と同様に参加者の積極的な質問が見られ、環境意識の醸成に寄与することができました。

田中川干潟生き物観察会では、田中川を通して干潟にはどんな生き物がいるのか、干潟の環境を整えるとどんな生き物が増えるのかを学び、同じく環境意識の醸成に寄与することができました。

さらに、間接的な取組みとして、津市の里地・里山の自然に親しむ学習会や里海の環境保全につながる海岸清掃を支援することで、環境意識の向上にも寄与しました。

### 【今後の取組】

里地・里山が大切な財産であることを情報発信し、環境保全に対する意識の向上に向けたホタル観察会、環境月間記念植樹等の環境学習行事等を通じて、市民に津市の自然や環境保全に対する意識の向上に努めていきます。

また、市内の動植物の宝庫である里海についても、情報発信を続け、環境学習会等を実施し、自然の大切さを知る機会を提供していきます。

(2) 公益的機能の維持増進

《森林環境の保全》

- ア 水源かん養機能を向上し、良好な水道水を確保・提供するため、森林の保護、整備を進めるとともに、取水した原水においては定期的な水質監視を行います。
- イ 効率的な森林施業を図り、森林の状況に応じた整備・保全を行い、森林の多面的機能の維持・向上を図ります。また、水源かん養、保水性、山地防災、二酸化炭素の吸収・酸素の発生など森林の持つ大切な機能について情報発信します。

【令和元年度の取組結果】

ア)

① 津市水道水源保護条例に基づく、水源の保護

津市水道水源保護条例に基づき、水道に係る水質の汚濁を防止し清浄な水を確保するため、その水源の保護及びかん養に努めました。本年度は、水源地域での水源保護条例の規定に関わる事例はありませんでした。

② 定期的な水質検査業務の継続

水質検査計画に基づき水源から各浄水場に取水する原水の水質検査を毎月・年12回定期的に行い、安定して良好な水道水の提供が可能な水質であることを確認しました。

【令和元年度実績】

地域	浄水場 及び 水質検査ヶ所数 ※( )内は、取水ヶ所数
津地域	片田浄水場(1)、高茶屋浄水場(1)、三雲浄水場(1)
久居	別所浄水場(1)、金剛峰浄水場(1)
河芸	千里ヶ丘第2浄水場(1)、西部浄水場(2)、上野第2浄水場(1)、豊津浄水場(4)
安濃	安濃中央浄水場(1)、妙法寺浄水場(2)、安濃浄水場(1)
芸濃	北神山浄水場(1)
美里	高座原浄水場(1)、穴倉浄水場(1)、中野高宮浄水場(1) 平木浄水場(1)
美杉	下之川浄水場(1)、下多気浄水場(1)、小西浄水場(1)、須渕浄水場(1)、上八知浄水場(1)、下竹原浄水場(1)、奥津浄水場(1)、川上浄水場(1)、上太郎生浄水場(1)、中太郎生東浄水場(1)、中太郎生西浄水場(1)、下太郎生浄水場(1)、伊勢地浄水場(1)

イ)

① 強い森林づくり促進事業、森林環境創造事業の継続

資料編P5

強い森林づくり促進事業として、間伐等の森林整備を実施する林業事業体を支援しました。津市内の森林において間伐 270.87ha、作業道 8,120m、植栽 10.32ha を支援しました。

森林環境創造事業として、榊原町、白山町及び美杉町地内の環境林において 14.61ha の間伐を実施しました。

## ② 森林環境譲与税の活用

令和元年度は森林環境譲与税を活用し、森林経営管理事業として芸濃地域の森林約3,300haを対象に森林所有者の意向調査を実施しました。その意向調査において、安濃ダム上流で市への経営委託を希望する森林が多かった箇所において81.4haの森林現況調査・境界明確化を実施しました。

また、芸濃町河内地内の整備が遅れている市有林において21.96haの間伐を実施しました。

## ③ みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した体験学習等

夏休み森と緑の親子塾では、木工体験や丸太切り・皮むき体験を実施し、木のぬくもりを肌で感じてもらうことができました。

また、まるごと林業体験では、間伐体験やチェーンソーによる丸太切り体験や木工作品づくりを実施し、林業というのはどういうものなのかを体験してもらうことができました。

## 【令和元年度みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した取組実績】

配分	対策区分	事業名	内容	事業費 (交付金額)(千円)
基本枠	土砂や流木による被害を出さない森林づくり	林地残材搬出促進事業	間伐で発生した林地残材をエネルギー利用するため搬出・運搬経費の一部を支援 5,128 m <sup>3</sup>	35,849 (35,815)
	森を育む人づくり	夏休み森と緑の親子塾	木工製品の組み立てや丸太切り体験 開催回数1回 16組44名	194 (194)
		まるごと林業体験	間伐体験やチェーンソーによる丸太切り体験や木工作品づくり 開催回数1回 20名	299 (299)
連携枠	—	流域防災機能強化対策事業	溪流沿いの森林における間伐 芸濃町河内地内、美里町桂畑地内 48.71ha	37,202 (37,201)
		森林再生力強化対策事業	新植地等への獣害防止施設の整備に係る支援 9,438m	6,438 (6,438)
			合 計	80,232 (80,197)

## (2) 公益的機能の維持増進

### 【評価・課題】

強い森林づくり促進事業や森林環境創造事業により間伐等を促進して森林の持つ多面的機能の発揮を促すことができました。

さらに、森林教育を実施することにより、森林の機能や林業に興味・関心を高めることができ市民が一体となって森づくりをしていく意識づけを行うことができました。

森林経営管理事業では芸濃地域において未整備森林の解消のために必要な意向調査、森林現況調査、森林境界の明確化を進めることができました。

### 【今後の取組】

森林の保全に関わる既存事業を継続的に進めることで、今後も森林の持つ多面的機能の発揮を図っていくとともに、森林経営管理事業として継続的に意向調査、森林現況調査、境界の明確化を実施し、管理がなされていない森林を森林所有者の代わりに市が管理することにより、未整備森林の解消を図っていきます。

## 《農地環境の保全》

ア 新規就農者・担い手の育成・確保による安定した農業経営基盤の強化に向けた取組への支援を行い、農地集積・集約化等による農地利用の適正化を進めるとともに、農業・農村の多面的機能の発揮による国土保全・資源かん養のための取組を推進します。

## 【令和元年度の取組結果】

ア)

## ① 市民農業塾、農林水産まつりの開催

資料編P8

就農希望者や農業に興味のある人を対象とした市民農業塾を開催し、農作物の栽培管理や基礎的な栽培技術、農業知識を学びました。

農林水産まつりには、市内の32事業所が参加し、農作物や加工品を展示、販売し農作物や加工品を広くPRしました。

## 【令和元年度実績】

事業名等	開催日等	参加者等
市民農業塾	隔週土曜日 年間25回	12人
農林水産まつり	令和元年11月2日	32事業所が参加 来場者約14,000人

## ② 農林業就業促進対策事業、農林次世代人材投資資金事業の活用

新規就農者等が新たに農業経営を開始する場合など最大で年間150万円を給付する制度である農業世代人材投資資金を活用し、対象者に給付金を交付しました。

また、将来の農業の担い手を目指す農業後継者の確保及び育成を図る農業後継者研修費補助金を活用し、農業の担い手の後継者に対して、研修費を補助しました。

## 【令和元年度実績】

事業名	対象者数	補助等金額
農業次世代人材投資資金事業	継続認定新規農業者14人	21,375,000円
	新規就農者2人	
農業後継者研修費補助金	農業後継者1人	59,000円

## ③ 農業経営力向上支援事業、集落営農促進対策事業の活用

集落営農促進対策事業を活用し、集落営農組織が更新導入する農業用共同利用機械等の購入経費を補助するなど営農組織の基盤強化を図りました。

## 【令和元年度実績】

事業名	内容等	対象者等	補助等金額
集落営農促進対策事業	集落営農組織が更新導入する農業用共同利用機械等の購入補助	11組織	18,464,000円

## ④ 中間管理事業の継続

農用地の集積・集約化を促進し、経営規模の拡大による農業所得の向上等農業競争力

## (2) 公益的機能の維持増進

の強化とともに耕作放棄地の解消を図るため、中間管理事業を実施しました。

### 【令和元年度交付実績】

名 称	内 容	対象者等	交付実績額
地域集積協力金	地域の農地を一定割合以上機構へ貸付けることに対する地域への支援	2 地域	798,800 円
経営転換協力金	農業者が経営転換・リタイアする場合で農地を機構へ貸付けることへの支援	17 人	895,500 円

### ⑤ 農用地流動化促進事業の継続

農用地の効率的な利用促進と安定的な農業経営者の育成目的とし、新たに賃借権を設定した担い手（借り手）に奨励金を交付する農用地流動化促進事業を活用し、延べ107人の担い手に奨励金を交付し、担い手への農地の集積・集約化を促進しました。

### 【令和元年度実績】

対象担い手	延べ107人
対象面積	533,910 m <sup>2</sup>
奨励金額	5,364,800 円

### ⑥ 多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型直接支払交付金の活用

多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型直接支払交付金を活用し、自然環境に配慮しつつ、効率的で持続可能な農業生産活動の促進を図りました。

### 【令和元年度交付実績】

名 称	内 容	交付実績数	交付実績額
多面的機能支払交付金	農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対する支援	115 組織	190,001,348 円
中山間地域等直接支払交付金	中山間地域等の農業生産条件に関する不利を補正するための支援	26 集落	36,298,857 円
環境保全型直接支払交付金	自然環境の保全につながる農業生産方式を導入した農業者団体等に対する支援	5 事業者	6,052,700 円

### 【評価・課題】

令和元年度の農林水産まつりでは、津市産農林水産物の販売だけでなく、市内生産物の紹介やおおさ汁振舞など内容の充実を図り、生産者と消費者の交流による津産津消の推進に努めることで、来場者数の増加につなげました。また、生産者と地域のこどもが顔を合わせる「津の恵み交流会」を開催し、生産者の生産意欲や販路開拓・拡大への意識の向上と消費者の地産地消への関心を高めるきっかけづくりに取り組みました。

また、農業経営者の高齢化が進む中、農地の耕作放棄地化の抑制及び担い手に対する農地の面的集積の取組を支援し、効率かつ安定的な農業経営者の育成に取り組むことができました。令和5年度までの担い手への農地集積率を70%まで増加させる目標が三重県にて掲げられているため、今後さらなる集積を進めていくことが求められています。

**【今後の取組】**

津市産農林水産物の魅力発信に加え、生産者と事業者・一般消費者とのマッチング等更なる消費拡大に向けた「地産地消」、「地産他消」を推進します。

農地中間管理事業等による担い手等への農地集積・集約を促進するため、市、県、農地中間管理機構、JAに加え、農地利用最適化推進委員等農業委員会など関係機関が連携し、農地集積率の向上を図ります。

さらに農林業就業促進対策事業や農業経営力向上支援事業など国、県等の様々な支援事業を継続して活用し、新規就農者・担い手の育成、農地集積・集約化による農業経営基盤の安定化を進め、農業・農村の多面的機能の発揮による国土保全・資源かん養に努めていきます。

## 2 《環境目標2》「資源が循環する社会環境」の取組結果

### (1) 資源循環の推進

#### 《3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進》

- ア 可燃ごみ減量化のため、生ごみの水切りを啓発するとともに、生ごみのたい肥化や紙ごみの資源化を徹底するなど、可燃ごみの資源化を進めます。
- イ 刈草、木の葉などは、たい肥化するなど、燃やせるごみとして処分しない方法を奨励します。
- ウ 食品類を始め、日用品等の過剰な購入を控えたり、マイバッグの利用を徹底するなど、ごみの出ない生活スタイルの実践を啓発します。
- エ 事業系の一般廃棄物の排出量を減らすため、事業者による減量化計画の策定及び計画の実行について事業者の協力を求めます。
- オ リユース情報掲示板による情報交換を充実し、まだ使える物がごみとして排出されない仕組みづくりに努めます。
- カ エコ・ステーションは民間事業者の店頭回収とのバランスを考慮しながら、市民がより利用しやすい環境を整えます。

#### 【令和元年度の取組結果】

ア)

##### ① 生ごみの水切り・たい肥化の促進

- ・生ごみ処理機等購入補助金交付事業の継続（市補助事業のPR） 資料編P20  
生ごみ処理機等購入補助金交付事業を継続実施することで、生ごみ処理機の普及を促進し、生ごみの減量化を図りました。

また、当補助金事業について、環境だよりでPRするとともに、生ごみ処理機等の販売店舗を訪問し、当補助制度の啓発チラシを店頭に置いてもらうことで、より多くの市民が生ごみ処理機を利用し、ごみ減量化に取り組んでもらうよう啓発しました。

#### 【令和元年度補助金交付実績】

種類	基数	交付金額
生ごみ処理機	75基	1,668,400円
コンポスト容器	40基	90,300円
合計	115基	1,758,700円

##### ・くるりんフード事業の継続

資料編P17

小学校の給食残さを堆肥化する仕組みを小学生に学んでもらい、ごみではなく資源として循環させることに関心を持ってもらうため、市内の小学校でくるりんフード事業に取り組みました。小学生には実際の工場を見学してもらうことにより、学校給食で食べ残したもの（ごみ）が最終的には肥料になる過程を見てもらい、ごみの減量・リサイクルについて学んでもらいました。



## 【令和元年度実績】

小学校数	収集量	納入堆肥
8校	10,927 kg	5,682 kg

## ② 紙ごみの資源分別の促進

## ・くるりんペーパー事業の継続

資料編P18

小学生に紙のリサイクルに関心を持ってもらうため、小学校49校及び公共施設13ヵ所で分別排出されたお菓子や食料品等の空箱（紙製容器包装）を収集し、リサイクルしたトイレットペーパーを各小学校等へ配布しました。

お菓子の空箱等を燃やせるごみとして出すのではなく、それらをリサイクルしたトイレットペーパーを小学校で使用することで、小学生の環境に対する意識の向上を図りました。

## 【令和元年度実績】

箇所数	収集量	トイレットペーパー納入数
62箇所	44,150 kg	54,000個

## ③ 容器包装プラスチックの資源分別の促進（排出方法等の啓発）

容器包装プラスチックは資源物として排出されるよう環境だよりでPRするとともに、ごみダイエット塾（出前講座）のなかで、容器包装プラスチックは出来る限りきれいに資源物として排出されるよう啓発しました。

## ④ リサイクル資源回収活動報奨金交付事業の継続

資料編P18

自治会やこども会等の団体が、古紙等の資源回収を通じてリサイクルに対する意識を高めるとともに、古紙や空き缶、古着等の再資源化を促進するため、各団体が実施する資源ごみの回収活動に対して、津市リサイクル資源回収活動報奨金交付要綱に基づき報奨金を交付し、各団体の資源ごみの回収活動を奨励しました。

## 【令和元年度実績】

団体数	回収量	報償金交付金額
246	2,467 t	14,804,235 円

## ウ)

## ① レジ袋有料化への取組の継続

資料編P17

津市におけるレジ袋削減のためのマイバッグ持参運動及びレジ袋有料化に関する協定書に基づき、レジ袋の削減に取り組みました。

- ・レジ袋辞退率 88.89%
- ・事業者からの寄付金 市内事業者2者から合計102,715円

## ② 広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

環境だより、市ホームページで、ごみの出ない生活スタイルの実践を啓発しました。

(1) 資源循環の推進

【令和元年度実績】

発行日（環境だより）	内 容
令和元年 6 月 1 日	家庭でできるごみの減量について
令和元年 12 月 1 日	残さず食べよう「30・10」運動の実践について

工)

① 事業系一般廃棄物減量化計画事業の継続

- ・大規模事業所による減量化計画策定依頼・助言・指導

大規模事業所に対し、事業系一般廃棄物減量化計画書の提出を促し、各事業所において廃棄物の減量化に取り組むよう啓発しました。

才)

① 広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

環境だより、市ホームページにて、リユース掲示板について情報発信し、利用促進を図りました。

【令和元年度実績】

利用区分	申込件数	譲渡成立件数
譲ります	9 件	2 件
譲ってください	13 件	0 件

② 大型家具等ごみ出し支援で収集した家具等の再活用

大型家具等ごみ出し支援事業で収集した家具等の中で、再活用が可能なものを、津市リサイクルセンター内にある環境学習センターに展示しました。

平成30年度は3点の家具（タンスなど）、令和元年度はタンス1点が再利用を目的に引き取りされました。

③ リユース講習会の継続

リサイクルに対する意識向上を図るため、環境学習センターにおいて、不用となった古着などを活用して、ぞうりやバッグなどの新たなものをつくる講習会等を開催しました。

【令和元年度実績】

講座名	回数	参加者数
布ぞうり講習会	12 回	99 人
巾着袋教室	2 回	18 人

カ) エコ・ステーションの利用促進

① 民間エコ・ステーションの利用促進

- ・民間エコ・ステーションとの連携

資源ごみの回収を実施している民間の事業所等に対してアンケート調査を行い、資源ごみの回収状況等を確認しました。

・市管理のエコ・ステーション

市内6カ所のエコ・ステーションにおいて、資源物の回収を行いました。

【市管理のエコ・ステーション一覧】

名 称	搬入できる日時	搬入品目
明神リサイクルスト ックヤード	毎週水・土・日曜日 8:30~16:30 ※12月29日~1月3日除く	容器包装プラスチック、びん、 その他プラスチック +①の品目
芸濃エコ・ステーシ ョン	毎週水・日曜日、12/29.30 9:00~16:30 12/30は12:00まで ※12月31日~1月3日除く	金属(50cm角以内のもの)、自転 車、危険ごみ +①の品目
一志とことめエコ・ ステーション	毎週土・日曜日、12/29 9:00~16:30 12/30は12:00まで ※12月31日~1月3日除く	
西部クリーンセンタ ー	毎週月~金、日曜日 9:00~12:00 13:00~16:00 ※祝・休日除く ※12月31日~1月3日除く	①の品目は以下のとおり 新聞、雑誌、ダンボール、飲料用紙 パック、衣類・布類、ペットボト ル、小型電子機器
河芸エコ・ステーシ ョン	毎週火・木・土・日曜日 12/29.30 8:30~16:30 12/30は12:00まで ※12月31日~1月3日除く	
香良洲エコ・ステー ション	毎週月・火・木~日曜日 12/29.30 7:30~12:00 13:30~16:45 12/30は12:00まで ※12月31日~1月3日除く	

## (1) 資源循環の推進

### 【令和元年度市管理のエコ・ステーション回収実績】

(単位：kg)

	新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	衣類・布類	ペットボトル	金属	危険ごみ	蛍光管	乾電池	びん	容器プラ	その他プラ
明神	54,720	83,320	51,460	1,430	54,820	23,230					44,840	39,800	68,330
芸濃	1,400	7,000	5,200	30	4,990	440	21,510	240	340	260			
一志	2,860	8,090	4,260	70	8,490	330	20,990	130	330	390			
西部	3,520	22,190	12,200	60	22,610	280							
河芸	4,970	18,660	9,920	110	15,320	210							
香良洲	32,960	29,940	30,850	0	35,980	14,210	76,380	730	880	1,700	29,280		29,830
合計	100,430	169,200	113,890	1,700	142,210	38,700	118,880	1,100	1,550	2,350	74,120	39,800	98,160

### 【評価・課題】

生ごみの水切りや堆肥化、リユース掲示板の活用などを環境だよりや地域へ出向いての「ごみダイエット塾」で啓発し、ごみの資源化・ごみの減量に努めてきましたが、令和元年度の1人1日当たりのごみの排出量は1,023gで、前年度の1,006gに比べ、17g増量となりました。

また、ごみのリサイクル率は22.1%で、前年度の21.7%に比べ、0.4ポイント上がっているものの、引き続き、ごみの適正分別及び小さな雑紙などを古紙（資源ごみ）として排出する意識の徹底が必要です。

また、汚れが取り切れない容器包装プラスチックは、燃やせるごみとして排出してもらっていますが、汚れが容易に取れそうなものまで燃やせるごみとして排出されている例もあることから、容器包装プラスチックの排出に際しては、資源物として回収量の増加を図りつつ、リサイクルに適した品質を確保できるよう適正な排出方法の啓発が必要です。

### 【今後の取組】

今後は、環境だよりや市ホームページでの啓発を継続するとともに、ごみダイエット塾や環境イベント等の機会を捉え、生ごみの水切り、堆肥化、雑紙の資源化、リユース掲示板の活用など、不要なものを排出する場合、出来るかぎり資源ごみとして排出してもらうよう啓発を継続していきます。

また、生ごみの減量化については、市民の方から生ごみの水切りモニターを募るなどして、どの程度ごみ減量効果があるか等その効果を量りながら啓発していくとともに、生ごみ処理機等の普及促進をPRしていきます。

## 《ごみの適正分別と収集》

- ア 高齢者や障がい者にも配慮した「分かりやすいごみの分別」や「やさしいごみの出し方」を研究し、負担の少ないごみの分別収集体制の充実を図ります。
- イ 適正なごみの分別方法・出し方等について、環境だよりや本市の広報紙、ホームページでの啓発を継続して行うとともに、ごみダイエット塾や小学校での環境学習など様々な機会を通じて啓発します。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

#### ① 市民に分かりやすく負担の少ない分別・収集方法の検証

市民の皆さんが分かりやすく負担の少ないごみの分別方法を研究するため、現状の各ごみ種別の収集量の調査を行い、データを収集するとともに、収集方法等の検証を行いました。

#### ② 大型家具等ごみ出し支援事業の実施

資料編P21

平成30年4月から大型家具等ごみ出し支援事業を開始し、大きな家具等を1m程度に分解することやごみ一時集積所まで運ぶことが困難な方（「要支援認定者、要介護認定者、障がい者及び75歳以上の者」のみでお住まいの世帯）を対象に、市職員が直接対象世帯宅を訪問し、無料で大型家具等を収集しました。

#### 【令和元年度収集実績】

引き取り実施世帯数	引き取り家具等数
533 世帯	1,239 個

イ)

#### ① 広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

環境だよりや市ホームページにごみの出し方や分別方法等を掲載し、PRを行いました。

#### 【令和元年度実績】

発行日（環境だより）	内 容
令和元年6月1日	家電4品目の処理方法について、ごみ出しルールについて
令和元年9月1日	ごみ分別のアプリ配信について
令和元年12月1日	家電4品目の適正な処理方法について

#### ② ごみ一時集積所設置等事業補助金交付事業の継続

資料編P22

ごみの効率的な収集を行うとともに、市民の美化意識の高揚、公衆衛生の向上及び生活環境の保全を目的として、自治会が管理するごみ一時集積所の設置工事・改修等工事に対して、補助金を交付し、整備を支援しました。

#### 【令和元年度実績】

申請件数	補助金額
138 件	4,838,000 円

## (1) 資源循環の推進

### ③ 地域への出前講座・イベント等の実施

#### ・ごみダイエット塾、小学校での環境学習等の実施

資料編P21

適正なごみの分別方法・出し方等について、地域（自治会等の各種団体）からの要望に応じ、地域に出向いて講座を行う「ごみダイエット塾」を実施しました。

また、小学校4年生を対象に作成し配布しました社会科副読本「ごみとわたしたち」にあわせ、児童を対象に「環境学習」の一環として、ごみの分別等ごみ出しルールの説明のほか、ごみ収集車へのごみ積込実演や乗車体験等を実施しました。

#### 【令和元年度実績】

事業等名称	実施団体数	参加者数
ごみダイエット塾	14 団体	493 人
小学校環境学習	38 小学校	1,899 人

#### ・夏休み親子ごみ教室の継続

資料編P22

子どもたちの環境への関心を高めるため、夏休み子どもごみ教室を開催し、親子42名が西部クリーンセンターとリサイクルセンターを見学し、ごみの減量やリサイクルについて学びました。

#### 【令和元年度実績】

開催日	場所	参加者数
令和元年8月8日	西部クリーンセンター、リサイクルセンター	42 人

#### ・ごみ分別アプリの配信開始（メールマガジン配信事業からの移行）

令和元年9月より、新たにごみ分別アプリ「さんあーる」を配信。お住まいの地域を設定することで、収集日をカレンダー形式で確認できるとともに、指定した日時にごみ出し日・種類をアラームでお知らせする機能など備えています。また、台風等の災害時のごみ収集状況やごみに関する情報をお知らせしています。これにより、従来、ごみ分別やごみ出しに不慣れな学生を支援するために配信していたメールマガジンの配信事業はごみ分別アプリへ移行しました。

#### 【令和元年9月から3月までのダウンロード数】

ダウンロード数	6,846
---------	-------

### 【評価・課題】

平成30年度から大型家具等ごみ出し支援事業を開始し、平成30年度224世帯、令和元年度533世帯に、大きな家具等をごみ一時集積所まで出すことが困難な世帯に市職員が直接対象世帯宅まで収集に伺い支援を行いました。

適正なごみの分別方法や出し方について、環境だよりや市ホームページで情報発信するとともに、小学校での環境学習やごみダイエット塾などの場で啓発を行いました。

小学校での環境学習では、小学校へ訪問し子どもたちにごみ処理の流れとごみの分別等ごみ出しルールなどの説明とごみ収集車への積込みから排出までの実演や乗車体験を通じ、環境への関心を高めることができました。

津市ごみ一時集積所設置等事業補助金交付事業を継続することで、収集効率の向上とともに集積所付近における公衆衛生の向上を図り、市民の美化意識の高揚及び生活環境の保

全に寄与することができました。

### 【今後の取組】

大型家具等ごみ出し支援事業については、ごみ一時集積所まで大型家具等を排出することが困難な方（要支援認定者、要介護認定者、障がい者又は75歳以上の者）を支援していく中で、当該制度を漏れなく真にお困りの方に知ってもらうために啓発を継続して行うとともに、安定的にサービスが提供できるよう取り組んでいきます。

ごみ分別やごみ出しルールなどについて、環境だよりや市ホームページで情報発信するとともに、ごみダイエット塾の開催など地域へ積極的に出向いての啓発活動を継続していきます。小学校を訪問する「環境学習」については、子どもたちの関心も高いことから、学校との連携を十分に図りながら、今後も継続して取り組んでいきます。

津市ごみ一時集積所設置等事業補助金については、ごみ一時集積所は地域と連携したごみ処理行政を推進していく上で、地域の皆さんとの接点となる場所でもありますので、より利用しやすい集積所になるよう今後も継続して取り組んでいきます。

## 《不法投棄の防止》

ア 不法投棄対策として、環境パトロールや啓発看板の設置を実施するとともに、警察との連携強化、市民との協働により不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

① 環境パトロールの実施・啓発看板の設置・警察との連携強化等 資料編P23

不法投棄された廃棄物について、地元の方や警察とともに現場確認を行い、不法投棄者の特定に努めました。また、職員による環境パトロールを行うとともに、自治会等と連携し警告看板を設置しました。

### 【令和元年度実績】

不法投棄対応 件数	警告看板設置 件数	消火器処理実績		タイヤ処理実績	
		本数	処理経費	本数	処理経費
96 件	211 件	45 本	49,500 円	264 本	148,083 円

### 【評価・課題】

環境パトロールや警告看板の設置など対策を行っていますが、依然として不法投棄はなくなることから、警察や地元自治会等との協力を更に強化し、ごみを不法投棄しにくい環境づくりが必要です。

### 【今後の取組】

不法投棄対策として、環境パトロールや啓発看板の設置を実施するとともに、警察との連携強化、市民との協働により、こまめな草刈りを促進するなど不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。



## 《廃棄物の適正処理》

- ア ごみ分別方法の周知徹底を図り、中間処理過程においても徹底した分別を行い、廃棄物の資源化率を高めることにより、最終処分量の減量を図ります。
- イ 各処理施設の安全で効率的な運転管理の徹底に努めるとともに、施設の長期的な運用の視点に立った検討も進め、効率的・効果的な運転管理と安定した廃棄物処理を推進します。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

- ① ごみ処理施設内におけるごみの資源化の徹底 資料編P24  
ごみ処理施設に直接ごみを搬入する市民や事業者に対して、ごみ分別の周知徹底を行うとともに、ごみ処理施設内の手選別作業により、ごみの資源化に取り組みました。

イ)

- ① 安全で効率的な施設運営及び廃棄物処理  
施設の運転管理業者及び点検整備業者との定期的な打合せ会議等を実施し、情報共有することにより、安全で効率的な施設運営及び廃棄物処理に取り組みました。
- ② 施設の更新計画の検討  
西部クリーンセンター及びクリーンセンターおおたかの施設の老朽化が進むことから、将来に向けた継続的かつ安定的な廃棄物処理を確保するため、収集効率や施設の余熱利用を含めた効率的・効果的な処理システムの検討を行いました。

### 【評価・課題】

各処理施設において、安全で効率的な施設運営を行うことができました。  
また、平成28年4月に稼働したリサイクルセンター及び一般廃棄物最終処分場についても、処理実績に基づいた効率的な施設運営ができました。  
なお、ごみ処理施設（津市西部クリーンセンター・津市クリーンセンターおおたか・津市一般廃棄物最終処分場）の維持管理情報は、市ホームページで公表しています。

### 【今後の取組】

ごみの排出量の推移、資源化率等の推移を注視しながら、今後も安全かつ効率的な施設運営に努めていきます。

(2) 新エネルギーの適正な普及

《新エネルギーの利用促進》

ア 新エネルギー利用設備設置費補助金事業を継続し、家庭や事業所の屋根などに設置する自家発電型の太陽光発電設備等による環境への負荷の少ない新エネルギーの普及を促進します。

イ 本市はバイオマス産業都市として国の認定を受けており、4つのプロジェクト(木質バイオマス発電、木質バイオマス固形燃料化、食品系廃棄物、汚泥固形燃料化)を支援していきます。

ウ 新エネルギー利用施設の整備の際には、地域住民の暮らしに配慮した導入方法を検討するよう事業者等に指導します。

エ 公共施設等への新エネルギー設備の導入を進めます。

【令和元年度の取組結果】

ア)

① 新エネルギー利用設備設置費補助金事業の継続

資料編P31

環境への負荷の少ない新エネルギーの導入を促進するため、新エネルギー利用設備設置補助金交付要綱に基づき、太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)の導入に係る補助金を交付しました。

【令和元年度補助金交付実績】

	太陽光発電				エネファーム	合 計
	個人住宅	共同住宅	事業所	集会所	個人住宅	
件 数	88 件	0	0	0	161 件	249 件
金 額	5,280,000 円	0	0	0	9,660,000 円	14,940,000 円

イ)

① バイオマス産業都市構想の進行管理

平成25年に策定をされたバイオマス産業都市構想で計画されている4プロジェクトの内、木質バイオマス発電と木質バイオマス固形燃料化のプロジェクトについては、平成28年7月から民間企業が市内の未利用間伐材等を燃料とした発電を行っています。

令和元年度も間伐材が利用され、CO2削減に貢献できました。

発電開始	平成28年7月
発電出力	約20,000 kW
世帯換算	約4万5千世帯分
CO2削減量	約75,000 t-CO2

ウ)

① 国、県のガイドラインによる助言及び指導

新エネルギー利用施設の整備に関して、地域住民の暮らしに配慮した導入を検討するよう、国及び県が策定したガイドラインを基に事業者等に助言及び指導(10件)を行い

ました。

工)

① 公共施設等への新エネルギー等の導入検討及び進行管理

資料編P33

公共施設等への新エネルギー設備導入を進めており、令和元年度は、久居駅東口駐輪場と藤水小学校・南郊中学校の3か所へ太陽光発電設備が導入されました。

【評価・課題】

新エネルギー利用設備設置費補助金は、太陽光発電設備88件、エネファーム161件、合計249件の利用があり、設備導入促進を図ることができました。

事業者が行う新エネルギー利用設備の導入にあたっては、地域住民からの相談の受付、国及び県が策定したガイドラインをもとに、事業者に対し助言及び指導を行いました。

【今後の取組】

新エネルギー利用設備設置費補助金事業については引き続き継続していきます。

また、バイオマス産業都市としての認定を受け稼働している木質バイオマス発電施設、木質バイオマス固形燃料化事業については、民間の発電事業者や関係部署と連携し、引き続き支援をしていきます。

新エネルギーの普及が進む一方、発電事業に新規参入する民間事業者の中には、専門的な知識が不足したまま事業に着手する者も多く、安全性の確保や発電能力の維持のための十分な対策を取らず、地域住民の生活環境等に影響を及ぼす問題が顕著になってきていることから、今後も事業者が行う新エネルギー利用設備の導入の際には、地域住民からの相談、苦情に対し早急に対応するとともに、地域住民の暮らしに配慮した導入方法を検討するよう事業者等に助言及び指導を行っていきます。

国の再生可能エネルギー事業計画策定ガイドライン、三重県の太陽光発電の適正導入に関するガイドラインを活用し、より良い新エネルギーの導入に向け、国や周辺自治体の動向を踏まえ、引き続き普及促進に取り組んでいきます。

### 《温室効果ガスの削減対策の推進》

- ア 津市地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス削減に向けた啓発活動に取り組みます。
- イ 森林の保全、街路樹や公園など公共施設の緑化を推進し、二酸化炭素の削減のための緑化を推進します。
- ウ アイドリングストップなどのエコドライブ、公共交通機関の利用、自転車の利用など温室効果ガスの削減につながる行動に個人もしくは事業所等団体で取り組む意識の高揚に努めます。
- エ 教育委員会を通じ、学校や公民館等と連携し、家庭で家族とともに地球温暖化防止への取組を実践する講座などを開催し、普段から環境についての関心を持って行動する市民意識の醸成を図ります。
- オ 低炭素社会の実現を目指すため、EV（電気自動車）及びFCV（燃料電池自動車）などの次世代自動車、ZEH（ゼロエネルギー住宅）など、二酸化炭素を出さない革新的なエネルギー高度利用技術の普及促進を図ります。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

#### ① 環境イベント等による啓発

つ・環境フェスタには展示や体験など環境への取り組みを紹介するブース、舞台などに103団体から出展され、それぞれの取り組みを広く市民に知らせることができました。低炭素社会実現に向けた次世代自動車や太陽光発電、エネファームなど展示し、新しい技術による温室効果ガス削減の啓発を行いました。

#### ② 地球温暖化対策実行計画等の進行管理

##### ・第1次地球温暖化対策実行計画の進行管理

削減対象の温室効果ガスである二酸化炭素排出量を、基準年度の平成21年度比30%減を目標としています。しかし、民生部門で排出量が増えており、最終年度令和2年度までに目標達成が難しい状況です。つ・環境フェスタや津まつりなどの機会を捉えてCO2削減についての啓発を行いました。

##### ・第2次地球温暖化対策実行計画策定・進行管理

現計画は令和2年度末で計画期間が満了するため、令和3年度から令和12年度を計画期間とする新たな計画の策定準備を行いました。

イ)

#### ① 景観・維持管理等に配慮した街路樹や公園内植栽の配置

平成31年度（令和元年度）は道路において、景観に配慮した街路樹の整備を行いました。また、自治会や業者への業務委託により、緑化に配慮しながら剪定等の作業を行いました。

ウ)

① クールシェア、ウォームシェアの推奨

広報津でクールシェアについて情報発信し、普段の生活の中で温室効果ガス削減につながる行動を実践するように呼びかけました。

② クールアースデー事業の継続

資料編P36

家庭や職場で地球環境の大切さを再確認し、それぞれができる地球温暖化防止対策を推進するため、市役所本庁舎において午後8時以降は消灯するライトダウンを呼び掛け、CO<sub>2</sub>削減に取り組みました。

【令和元年度実績】 6月22日、7月7日、7月17日、8月21日、12月22日

エ)

① エコ意識高揚に向けた実践講座などの開催

資料編P35

地球温暖化防止中勢協議会が実施主体として、例年小学校へ出向いての環境学習講座を開催して、児童の環境意識の高揚に努めています。令和元年度は小学校での環境学習講座は実施しませんでした。

② 夏休みエコチャレンジの継続

資料編P35

小学生を対象に家庭で実践できる身近なエコ活動に取り組んでもらうため夏休みエコチャレンジを実施しました。2,000人を超える小学生の参加があり、環境意識の高揚に寄与しました。

【令和元年度実績】

参加校数	42 小学校
参加人数	2,055 名

オ)

① 広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

新エネルギー利用設備設置費補助金について環境だよりや市ホームページで広く市民にお知らせしました。今後は補助金によるCO<sub>2</sub>削減効果なども公表していきます。

② つ・環境フェスタにおける啓発技術の紹介

環境フェスタにおいて、次世代自動車(PHV)、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、太陽光発電用パネル、メガソーラー発電所、風力発電システムなど新しい設備や技術を紹介し、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながる新しい設備の導入を啓発しました。

【評価・課題】

児童の環境への関心を高めるため、自宅でできる地球環境を守る取組である「夏休み子どもエコチャレンジ」を実施し、多くの小学生の参加を得られた。また参加特典として、「つ・環境フェスタ」でのおもちゃ等のかえっこコーナーで使用できるポイントを付与したことで、環境フェスタへの児童の参加が促進された。

現在の地球温暖化対策実行計画は、令和2年度末で計画期間が満了となるため、新たな

## (2) 新エネルギーの適正な普及

計画を策定する必要があるため、策定の準備を進めた。

### 【今後の取組】

温室効果ガスの削減について、「地球温暖化防止中勢協議会」との協働により公民館講座や小学校の環境学習など機会をとらえ啓発を行います。また、低炭素社会の実現に向け、今後も広報津や市ホームページなどで新エネルギーの利用や省エネルギーにつながる行動について情報発信し、より多くのご家族が自主的に地球温暖化防止に取り組めるよう市民意識の醸成を図ります。第2次地球温暖化対策実行計画（計画期間：令和3年度から令和12年度）の令和2年度中の策定更新作業を計画的に進めて、年度内に完成します。

## 《省エネルギー対策の推進》

- ア 省エネルギー家電の導入やこまめな電源のON/OFFを心がける行動、エコドライブの実践や自転車の利用など省エネルギーにつながる行動を広く、呼び掛けます。
- イ 緑のカーテン普及事業や家庭でできる省エネルギーに関する講習会や情報発信を行います。
- ウ 公共施設における電気、燃料等の効率的な使用を図ります。
- エ 生活かえる！エコエコ家族などの市民版環境マネジメントシステムを推進します。
- オ 事業活動における効率的なエネルギー利用について、市内事業者に呼び掛けます。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

#### ① 地球温暖化対策講座の継続

資料編P36

グリーンのカーテン普及促進講座の開催に合わせて、地球温暖化対策講座を行い、省エネルギー、二酸化炭素の削減につながる行動の実践を呼びかけました。

#### ② 環境イベント等による啓発

11月につ・環境フェスタを行い、「CO<sub>2</sub> CO<sub>2</sub> (コツコツ) 防止温暖化」ー減らそう温室効果ガスーをテーマに、多くの展示や体験ブースへの参加がありました。また来場者には省エネルギーによる地球温暖化防止など、環境意識の向上を呼び掛けています。

イ)

#### ① グリーンのカーテン普及促進事業の継続

4月からゴーヤの種の窓口配布を行い、5月に4地域で普及促進事業を行い、あばしゴーヤの苗を配布し、グリーンカーテンの普及拡大と、地球温暖化防止について啓発しています。

#### 【令和元年度普及促進講座実績】

開催日時	場 所	参加者数
5月14日(火)	安濃公民館	5人
5月15日(水)	アスト津	20人
5月16日(木)	白山総合文化センター	3人
5月17日(金)	環境学習センター	7人

ウ)

#### ① 庁内の環境マネジメントシステム推進事業の継続

資料編P37

環境マネジメントシステムに係る内部環境監査員を養成し、市の事務事業に係る環境への負荷軽減を図りました。

【令和元年度実績】内部環境監査員を養成数 23人

## (2) 新エネルギーの適正な普及

工)

### ① 市民版環境マネジメントシステム（生活かえる！エコエコ家族）の継続

資料編P35

市民の環境意識の高揚を図るため、生活かえる！エコエコ家族事業を通じて、普段の生活の中で家族でできるエコ活動の実践を推奨しました。夏休みこどもエコチャレンジの活動は増えてきましたが、エコエコ家族は取り組みがありませんでした。推進方法の見直しが必要です。

オ)

### ① 広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

市ホームページにおいて、津市環境マネジメントシステム認証取得費補助金制度を情報発信し、環境負荷の低減につながる企業活動を継続していくためのシステム導入を促進しました。

#### 【令和元年度実績】

補助事業名	件数	補助金額
津市環境マネジメントシステム認証取得費補助金	1件	49,000円

#### 【評価・課題】

昨年度に引き続き内部環境監査員の養成を行い、同監査の増員を図るとともに、庁舎等における環境マネジメントシステムの運用が適切に行われているかを内部監査として実施することができました。また、他市の内部監査を本市の職員が行うことで他市の状況を把握することができました。

一方、「生活かえる！エコエコ家族」への参加者を増やし、市民への啓発を促進することが課題です。

#### 【今後の取組】

他市の内部環境監査員との情報交換を図り、互いに内部監査の交流を行うことにより内部環境監査員の一層のスキルアップを図ります。また近年、「生活かえる！エコエコ家族」の認定件数が減少傾向であることから、啓発用冊子やエコエコシートの内容を分かりやすく改良し、親子エコ・クッキング教室や三重県環境フェアの環境政策課ブースなどで重点的に募集しています。



### 3 《環境目標3》「快適で暮らしやすい生活環境」の取組結果

#### (1) 衛生的な生活環境の保全

##### 《空き地・空き家等の適正管理》

- ア 空き地・空き家化の予防・抑制のため、市民や所有者に対し、空き地・空き家を放置しない意識の醸成を図る啓発に取り組みます。
- イ 資産価値のあるうちに賃貸や売却が行われるなど、空き家が住宅ストックとして利活用される流通環境の構築に取り組みます。
- ウ 適正に管理されていない空き地・空き家の所有者に対し、適正管理に向けた啓発や情報発信を行い、改善されない場合は所有者に対し指導を行います。

##### 【令和元年度の取組結果】

ア)

##### ① 無料相談会、広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

空き地・空き家対策として、市民や所有者に対し、予防・管理・利活用を促進させるため、広報津などで啓発を行うとともに、空き家無料相談会を開催し意識の醸成を図りました。

##### 【令和元年度空き家無料相談会実績】

日 時	場 所	相談件数
11月23日(土)	中央公民館ホール(津センターパレス)	100件

##### ② 高齢者施設、地域包括支援センター、在宅介護支援センター等へ出向いての啓発

空き家化の予防・抑制のため、高齢者施設等へ出向き、所有している空き家等を放置しないよう啓発活動を行いました。

##### ③ 転出者向け配布物等を利用した啓発

転出・転居者向けには、広報等での啓発及び配布物を利用した啓発を併せて行い、適正な管理を促しました。

##### 【令和元年度実績】

媒 体	発行日	内 容
環境だより	7月1日発行	空き家の早期利活用のススメ、空き地を所有している人へ
環境だより	12月1日発行	空き家の予防・管理・利活用について、相談窓口の案内
広報津	4月16日発行	空き地の適正な管理について
広報津	5月16日発行	危険な空き家の相談について
広報津	3月1日発行	転居・転出者への空き家管理について

イ)

##### ① 津市空き家情報バンクの運用

市内の空き家等の利活用を促進するため、市内全域を対象として津市空き家情報バ

## (1) 衛生的な生活環境の保全

リンクを運用しています。空き家情報バンクの登録物件の掘り起こしや成約件数の増加を目指した取組を進めました。

### ② 空き家ネットワークみえとの連携

空き家所有者の相談に対応するために空き家ネットワークみえと「空家等対策における連携及び協力に関する協定」を締結し、市に常設でワンストップでの対応ができる相談体制を整備しました。

## ウ)

### ① 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく、助言・指導・勧告等

適正に管理されていない空き家の所有者に対し、法に基づく助言、指導、勧告等を行い改善を求めました。

空き家等をめぐる問題や利活用・解体などの情報をまとめたパンフレットを窓口等で配布するなど、空き家等の適正管理や利活用について周知・啓発を行いました。

#### 【令和元年度末の状況】

特定空家等の認定件数 294 件				特定空家等以外 697 件	
解体等 改善済	勧告	指導	改善に向け対 応中	解体、補修等 改善済	改善に向け 対応中
147 件	5 件	30 件	112 件	491 件	206 件

### ・適正に管理されていない空き家・空き地の草木の繁茂に係る相談対応

#### 【令和元年度実績】

区 分	相談件数	うち新規相談	
		うち新規相談	うち再相談
相 談 件 数	645 件	391 件	254 件
うち改善	486 件	299 件	187 件
(改善率%)	75.3%	76.4%	73.6%

#### 【評価・課題】

空き地・空き家化の予防・抑制のため、広報津や環境だよりへの掲載、高齢者施設等へ出向いての啓発活動、空き家無料相談会の開催などを併せて行い、空き地・空き家の発生抑制・適正管理に対する意識の醸成を図ることができました。

空き地については、「津市廃棄物の減量及び処理等に関する条例」等に基づき、空き家については、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、改善依頼を行い、迷惑な空き地・危険な空き家の抑制に努めることができました。

空き家については、空家法に基づき改善依頼、指導等を行い危険な空き家の抑制を努めるとともに、行政代執行による解体を行った。

空き家情報バンクの登録物件の掘り起こしを目指し、空き家所有者へ利活用を促すダイレクトメールを送付するとともに、広報津はもとより地域だよりへも物件登録の案内記事を掲載しました。また、成約件数の増加を目指し空き家見学会を年2回開催するなどの取組を進めた結果、18件の成約となりました。

## 【今後の取組】

空き地・空き家の発生抑制・適正管理の意識の醸成を図るため、広報津、環境だより、市ホームページ等の様々な媒体を利用して継続した啓発を行います。

空き家の所有者に対しては、無料相談会を実施するほか、市役所においてワンストップで対応できる常設の相談体制を整備したので、関係団体とより一層連携を図り、所有者からの空き家に関する専門的な相談に対応していきます。

迷惑な空き地、危険な空き家に関する相談・苦情に対しては、迅速に対応するとともに、関連法令等に基づき空き地・空き家の所有者に適正な管理の指導を行っていきます。

危険な空き家については、法に基づき所有者に適正な指導を行っていく。

空き家情報バンクの物件登録については、利用登録者数に比較してまだ数が少ないことから、更なる掘り起こしを進めるため、ダイレクトメールの送付や広報津・地域だより等への物件登録の案内記事の掲載を行うとともに、引き続き空き家見学会を行うなど、成約件数の増加を目指した取組を進めていきます。

### 《愛護動物の適正飼養》

- ア 狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防注射の実施の徹底を図ります。
- イ 保健所と連携し、広報紙などによる動物の適正飼養に関する啓発を継続して行い、飼い主のマナー向上を図ります。
- ウ 三重県と連携し将来的に犬・猫の殺処分がゼロになることを目標として、終生飼養等の動物愛護に関する啓発に取り組みます。

#### 【令和元年度の取組結果】

ア)

① 狂犬病予防対策業務実施事業の継続

資料編P38

狂犬病予防法等に基づき、犬登録・狂犬病予防注射の実施を促進し、犬登録鑑札、および狂犬病予防注射済票の交付等を行いました。

また、獣医師に犬登録鑑札・狂犬病予防注射済票の交付等に係る業務を委託し、犬の登録、狂犬病予防注射実施率の向上を図りました。

#### 【令和元年度実績】

犬登録鑑札交付件数	狂犬病予防注射済票交付件数	犬鑑札再交付件数	狂犬病予防注射済票再交付件数	獣医師への業務委託件数
1,338 件	12,642 件	34 件	4 件	28 件

② 狂犬病予防集合注射の継続

4月9日～19日の間に市内123箇所で、狂犬病予防集合注射を実施し、狂犬病予防注射実施率の向上を図りました。

③ 広報津、環境だより、市ホームページ、チラシ配布等による啓発

犬登録・狂犬病予防注射について広報津（4月1日発行）や市ホームページ等にて啓発を行い、実施率の向上を図りました。

イ)

① 三重県（津保健所）との連携による現地指導等

市民からの相談、苦情に対し迅速に対応するため、三重県（津保健所）と常に連携し情報共有及び現地確認を行い、飼い主等に適正飼養のための助言・指導等を行いました。

② 広報津、環境だより、市ホームページ、チラシ配布等による啓発

ペットの適正飼養に関する啓発を広報津（10月1日、2月16日発行）や啓発チラシの配布等で行い、飼い主の適切なマナー向上を図りました。

ウ)

① 三重県（あすまいる）が実施するTNR活動への協力

三重県が始めたTNR活動は一代限りの命を見守る活動として、飼い主のいない猫に対して不妊・去勢手術を行っています。本市もTNR活動に協力し、飼い主のいない猫の相談・苦情の軽減に寄与しました。

【令和元年度実績】 不妊・去勢手術実施件数 136 頭

## ② 広報津、環境だより、市ホームページ、チラシ配布等による啓発

三重県と連携し将来的に犬・猫の殺処分ゼロになることを目標とし、飼い主に対する終生飼養及び動物愛護に関する啓発を広報津（10月1日、2月16日発行）等で行いました。

## 【評価・課題】

日曜日を含む狂犬病予防集合注射を市内123か所で行うとともに、犬登録鑑札交付等に係る業務を獣医師に委託するなど、飼い主の利便性を高め、犬の登録、狂犬病予防注射実施率の向上に努め、狂犬病予防法等に基づく、犬登録鑑札、狂犬病予防注射済票の交付等を適正に実施しました。

また、愛護動物の適正飼養・終生飼養に関する啓発やTNR活動への協力などにより、飼い主のいない猫による生活環境への影響の抑制に努めることができました。

今後も犬登録・狂犬病予防注射の実施率の向上に向けた取組や動物の適正飼養に関する取組は、継続して行っていく必要があります。

## 【今後の取組】

犬登録・狂犬病予防注射の必要性を啓発するとともに、市内各地での狂犬病予防集合注射や獣医師との連携した取組を行い、飼い主の利便性の向上に努め、実施率の向上に取り組んでいきます。

愛護動物の適正飼養・終生飼養およびTNR活動については、今後も三重県（あすまいる）と協力して、将来的に殺処分ゼロ及び市民の相談・苦情の軽減に取り組んでいきます。

## 《公害の防止》

- ア 大気・水質・騒音などの環境測定を継続して実施し、市民に環境情報の提供を行います。
- イ 騒音・振動・悪臭など環境に関わる相談・情報提供に対し、現地調査など迅速に対応します。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

#### ① 環境調査事業の継続及び測定結果の公表

##### ・大気環境事業

資料編P40

市内各地で簡易測定法による二酸化窒素および降下ばいじんの測定を行い、大気環境の状態を調査しました。また、調査結果を市ホームページで公開し、市民に環境情報を提供しました。

#### 【令和元年度実績】

調査場所	二酸化窒素 (単位： $\mu\text{g}\cdot\text{NO}_2/100\text{cm}^2/\text{day}$ )	降下ばいじん (単位： $\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$ )
津市役所	16	2.3
桃園小学校	10	2.0
上野小学校	15	2.1
芸濃総合支所	12	1.9
美里総合支所	5.0	1.7
安濃総合支所	6.4	2.2
香良洲総合支所	11	2.4
一志総合支所	7.8	2.2
白山保健福祉センター	7.4	2.4
美杉総合支所	4.6	1.9

##### ・水質環境事業

資料編P42

市内の河川および海域で公共用水域の水質測定を水質環境の状態を調査しました。また、調査結果を市ホームページで公開し、市民に環境情報を提供しました。

#### 【令和元年度実績】

河 川				
調査場所	BOD (単位：mg/L)	環境基準	大腸菌群数 (単位： MPN/100mL)	環境基準
中ノ川（中ノ川橋）	1.4	3	2.9E+03	5,000
安濃川（安濃橋）	1.2	2	2.1E+03	1,000
岩田川（五五六橋）	3.2	3	2.4E+04	5,000

長野川（一峰橋）	1.0	1	7.7E+03	1,000
雲出川（須淵橋）	0.9	1	8.0E+02	50
雲出川（赤岩橋）	0.9	2	4.4E+03	1,000

海 域						
調 査 場 所	COD (単位：mg/L)	環境 基準	全窒素 (単位：mg/L)	環境 基準	全磷 (単位：mg/L)	環境 基準
マリーナ河芸前千里海岸	4.1	3	0.35	0.3	0.036	0.03
白塚海岸	3.5		0.29		0.062	
安濃川河口	3.3		0.24		0.062	
御殿場海岸	3.0		0.24		0.057	
雲出川北側河口	2.9		0.23		0.048	

### ・ダイオキシン類測定業務

資料編P45

市内各地でダイオキシン類を測定し、大気、水質、土壤に含まれるダイオキシン類の状況を調査しました。また、調査結果を市ホームページで公開し、市民に環境情報を提供しました。

【令和元年度実績】

大 気 環 境

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

調 査 場 所	年平均値	環境基準
長谷山市民館	0.0053	0.6 以下
榊原上教育集会所	0.0036	
上野小学校	0.0053	
安芸津衛生センター	0.0053	
香良洲総合支所	0.0075	
白山保健福祉センター	0.0046	
美杉総合支所	0.0032	

水 質 環 境

(単位：pg-TEQ/L)

調 査 場 所	年平均値	環境基準
殿村用水(分部と安濃町境)	0.20	1 以下
蛇川(西浦橋)	0.11	
榊原川(別所橋)	0.064	
中ノ川(中ノ川橋)	0.12	
田中川(汐見橋)	0.83	

(1) 衛生的な生活環境の保全

土 壤 環 境

(単位：pg-TEQ/g)

調 査 場 所	年平均値	環境基準
榊原上教育集会所	0.21	1,000 以下
ピュアタウン団地内公園	4.8	

② 協定に基づく、事業所への立ち入り調査の継続

資料編P47

環境保全に関する協定を締結している工場・事業場や市内のゴルフ場に対して立入調査を実施し、工場排水の水質、ゴルフ場等の調整池・放流水中の農薬等の分析を行い、工場等の監視・指導を行いました。

【令和元年度実績】

工場排水分析		農薬等分析	
対象事業者数	調査回数	対象事業者数	調査回数
32 者	1~2 回	6 者	2 回

イ)

① 公害苦情相談への対応

大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭等に係る苦情（98件）に対し、調査・指導を行いました。

【令和元年度実績】

種 別	件 数
大気汚染	30
水質汚濁	12
土壌汚染	-
騒音	21
振動	3
地盤沈下	-
悪臭	18
その他	14

② 油流出事故への対応

油流出事故（4件）及び水質関連事件（8件）が発生し、発生時においては各関係機関と連携し対応しました。

【評価・課題】

市内各地で定期的に環境調査を実施し、状況を把握するとともに、調査結果を市ホームページで市民に環境情報を提供することで安全で安心して暮らせる快適な環境の保全に努めました。

また、工場排水の水質、ゴルフ場等の調整池・放流水中の農薬等の分析を行い、工場等を監視・指導することにより公害を未然に防止することができました。

市民からの大気汚染や水質汚濁等に係る相談や苦情に対しては、迅速に現地確認を行うなど適切に対応し、市民の安全、安心と快適な環境の保全に努めることができました。



**【今後の取組】**

今後も継続的に二酸化窒素濃度及び降下ばいじんの値の調査、公共用水域の水質環境の状態調査及びダイオキシン類の測定調査を継続して行い、環境状況を把握するとともに、調査データを蓄積することにより、季節的な変動、経年変化等を把握しつつ、大気、水質及びダイオキシン類の状態を監視していきます。

環境保全に関する協定を締結している工場・事業場、市内のゴルフ場等に対する立入調査、工場排水の水質、ゴルフ場等の調整池・放流水中の農薬等の分析を行い、工場等の監視・指導を行っていきます。

また、市民からの相談、苦情に対しては、早急に対応するとともに、大気汚染等の防止について、広報誌等での啓発を行っていきます。

### 《生活排水対策》

- ア 公共下水道供用開始地域の未接続世帯の公共下水道への接続について、指導、啓発活動を強化し、水洗化率の向上に取り組みます。
- イ 下水道計画区域及び農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域は、市営浄化槽事業として、合併浄化槽の早期普及と適正な維持管理に取り組みます。
- ウ 合併浄化槽の清掃やし尿くみ取りについて、安定した体制の維持に努めるとともに、合併浄化槽の適正管理について広く啓発します。

#### 【令和元年度の取組結果】

ア)

- ① 津市水洗便所改造費助成事業の継続
- ② 津市下水道普及向上預金補助事業の継続
- ③ 津市水洗便所改造資金融資の斡旋
- ④ 津市浄化槽雨水貯留施設転用補助金などによる支援

公共下水道供用開始区域の公共下水道への接続を促進するため、各種補助事業を実施し、水洗化率の向上を図りました。

#### 【令和元年度補助実績】

補助等の名称	実績
津市水洗便所改造費助成金	4 件
津市下水道普及向上預金補助金	3 件
津市水洗便所改造資金融資あっせん	利用者 25 件 新規 5 件
津市浄化槽雨水貯留施設転用補助金	9 件

- ⑤ 下水道局だよりによる周知および津まつり、つ環境フェスタ、みえ環境フェアによる啓発

広報津への折り込みで下水道局だよりを 4 回発行し、津市の下水道事業を紹介するとともに令和元年 10 月 1 日に下水道使用料の改定をしたことから、使用料改定の経緯や、シミュレーションなど下水道事業の現状と課題を周知しました。

また、津まつり、つ・環境フェスタにおいて、下水道事業を周知するため、アンケートを実施し、下水道に対する意識・意見を伺い、今後の事業運営の参考としました。

#### 【令和元年度下水道局だより発行実績】

発行日等	内 容
6 月 1 日号	公共下水道以外の汚水処理、令和元年度予算について
9 月 1 6 日号	下水道使用料の見直しについて
1 1 月 1 日号	公共下水道事業会計の平成 3 0 年度決算の状況について
3 月 1 日号	津市の生活排水処理について

## 【令和元年度アンケート実績】

イベント名	アンケート回答数
津まつり	511 人
つ・環境フェスタ	499 人

イ)

## ① 市営浄化槽事業の推進

市営浄化槽事業対象区域において市営浄化槽の設置を推進し、浄化槽 3, 1 2 1 基が市営浄化槽事業の対象施設となり、市が適切な維持管理を行うことになりました。市民の協力を得て、公共用水域の水質改善に向けた取組ができました。

## 【令和元年度実績】

市営浄化槽事業の対象となった施設数	3, 121 基	内訳	帰属	2, 538 基
			転換	394 基
			新設	189 基

## ② 共同汚水処理施設修繕工事補助金交付事業の継続

共同汚水処理施設の適正な管理は生活排水対策の重要な役割を担っていることから、管理組合等が実施する施設修繕工事に対して補助金の交付を行いました。適正な施設管理による公共用水域の水質改善に向けた取組ができました。

## 【令和元年度実績】

補助件数	補助金額
4 件	8, 752, 000 円

ウ)

## ① 広報津、環境だより、市ホームページ、チラシ配布等による啓発

公共用水域の水質保全のため、水質を汚す原因の一つである生活排水について、家庭でできる排水対策を広報津や市ホームページで情報発信しました。

## ② 浄化槽設置整備事業補助金交付事業の継続

資料編P49

生活排水対策として有効な合併浄化槽の設置、単独浄化槽やくみ取り便槽から合併浄化槽への転換に対して、補助金の交付を行いました。合併浄化槽の設置や転換を進めることで公共用水域の水質改善を促進することができました。

## 【令和元年度交付実績】

補助対象	実績数	補助金額
浄化槽 5 人槽設置費補助	62 人	8, 184, 000 円
浄化槽 7 人槽設置費補助	24 人	4, 649, 000 円
浄化槽 10 人槽設置費補助	1 人	548, 000 円
小 計	87 人	13, 381, 000 円
単独浄化槽撤去費補助	10 人	900, 000 円
転換に伴う配管費補助	20 人	1, 200, 000 円

(1) 衛生的な生活環境の保全

小 計	30 人	2,100,000 円
合 計		15,481,000 円

**【評価・課題】**

公共下水道への接続や水洗化を促進するための補助および融資制度、生活排水対策として有効な合併浄化槽の設置や単独浄化槽およびくみ取り便槽からの転換に対して補助制度は、例年、多くの市民に活用され、公共下水道への接続や合併浄化槽の設置の促進に有効な制度であり、公共用水域の水質改善にも寄与しています。

また、つ・環境フェスタ等イベント時において下水道事業のPRを行うとともに下水道だよりの発行や市ホームページでの啓発を通じ、下水道事業の重要性について周知することができました。

**【今後の取組】**

公共下水道への接続を促進するための補助および融資制度を継続して行うとともに、環境イベントや広報紙等で各補助等制度のPRを継続的に行い、さらなる下水道への接続、水洗化率の向上に取り組みます。

市営浄化槽事業については、広報津、市ホームページ等による啓発を継続し、市営浄化槽設置工事（転換・新築）の推進と市への帰属に向けた取組を行っていきます。

共同汚水処理施設の適正な管理は、生活排水対策の重要な役割を担っていることから、管理組合等が実施する施設修繕工事に対して補助金の交付を継続し、健全な施設の確保することにより、公共用水域の水質改善に向けた取り組みを推進していきます。

単独浄化槽やくみ取り便槽からの転換に対する浄化槽設置整備事業補助金交付事業を継続して行い、合併浄化槽の設置や転換の促進を図り、公共用水域の水質改善に取り組んでいきます。

合併処理浄化槽の適正管理について、保守点検や清掃、法定点検の実施を広報津や市ホームページなどを通じ、呼びかけていきます。

## 《市営墓地の適正管理》

ア 市営墓地について、適正な管理運営により無縁墓の発生防止に努めます。

### 【令和元年度の取組状況】

ア)

#### ① 墓地の定期的な状況確認、管理者との連絡体制の確保

市内6カ所の市営墓地について、施設の適正な維持管理を行うとともに、無縁墓等の管理実態が不明・不全となった又はおそれのある墓がないか墓地台帳等を活用し注視しました。

令和元度において管理不全墓はありませんでした。

#### 【令和元年度末市営墓地の状況】

(単位：区画)

地域	久居			安濃	香良洲	一志	合計
	野村	戸木	狐塚	安濃	香良洲	一志	
区画数	448	1,025	55	92	921	252	2,793
空区画数	0	0	0	8	126	3	143

### 【評価・課題】

現在、市営墓地には、無縁墓はありませんが、将来的には無縁墓が発生することも懸念されるため、各区画の管理状況に注意する必要があります。

### 【今後の取組】

定期的に管理不全となりそうな墓地がないか現地を確認・調査するとともに、使用権の継承手続きや不要な墓地の返還等について啓発を行います。また、現在の管理者との連絡体制を維持し、無縁墓の発生防止に努めます。

## (2) やすらぎを感じる生活空間の形成

### 《緑の保全・創出と水辺環境の保全》

ア 緑地の保全を図り、公共施設の緑化を進めるとともに、民有地の緑化意識の向上に努めます。

イ 自治会などによる継続的な公園の管理及び緑化・美化運動への参加を呼び掛け、地域ぐるみの緑化・美化活動の意識向上を図ります。

ウ 都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。

エ 公園は、地域コミュニティの場などとして活用されており、幅広い世代が安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。

オ 本市の里山や川辺空間、海岸の様子を市内外にPRし、これらの自然環境の保全・美化活動を担うボランティア団体等の育成に努めます。

#### 【令和元年度の取組結果】

ア)

- ① 市公共施設の敷地内緑化
- ② 景観法に基づく通知制度の活用
- ③ 景観アドバイザー制度の活用促進

本市が整備する公共施設や国・地方公共団体が行う建築等については、周辺の景観との調和に努めるとともに、景観法に基づく通知制度や景観アドバイザー制度などを活用して、良好な景観形成や敷地内の緑化への誘導を図りました。

- ④ 津市景観計画における届出制度の運用

民有地の建築等については、津市景観計画における届出制度の運用により、周辺の景観との調和に努めるとともに、敷地内の緑化に努めました。

- ⑤ 生け垣緑化用苗木の配布事業、記念樹配布事業等の継続

資料編P53

地域緑化、家庭緑化の推進を目的に、記念樹配布事業や生垣緑化苗木配布事業を行うとともに、公共空間の緑化推進を目的に自治会・市民団体等への緑化・美化運動による花苗等の配布を行いました。

#### 【令和元年度苗木配布等実績】

事業名		件数
生け垣緑化用苗木配布事業		13
記念樹配布事業	新築	157
	結婚	108
	出生	388
	還暦	181

## ⑥ 津市民緑と花の市の開催

津市民緑と花の市（秋）を開催し、県内の園芸・造園業者による、庭木や花苗、園芸用品などの展示販売を行うとともに、花木の育て方や、花苗の育成に関する講習会を実施するなど、家庭やまちへの緑化・美化意識の啓発を行いました。

【令和元年度開催実績】※春については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

開催日	場 所	来場者数
令和元年 9 月 27 日（金）～29 日（日）	お城西公園芝生広場	約 1,380 人

## イ)

## ① 市民清掃デーの継続及び参加促進

各自治会や団体等に市民清掃デーへの参加を呼びかけ、市内各地で道路や公園などの清掃が行われました。

【令和元年度実績】約 71,000 人

地域	実施日
津	9 月 29 日
久居	6 月 2 日
河芸	各自治体単位で実施
芸濃	5 月 26 日
美里	各自治体単位で実施
安濃	5 月 26 日
香良洲	5 月 26 日
一志	5 月 26 日
白山	6 月 9 日
美杉	6 月 2 日

## ② 自治会やボランティア団体を対象に「緑化・美化運動」の継続

各自治会や市民団体等による公園や道路等への緑化活動に対し、苗木や花苗、肥料等を支給することで、緑豊かで美しいまちづくりやコミュニティづくりを促進しました。

【令和元年度支給実績】171 団体

## ③ 市管理の公園について、地元自治会等への管理委託の継続

既契約の公園については継続して地元自治会等へ管理業務を委託すると共に、開発行為等による新設公園についても地元自治会等への管理業務を委託するようにしています。

## ウ)

## ① 都市計画事業の実施については周辺環境や整備方針に応じた施設配置を継続

香良洲高台防災公園、岩田池公園において園内の設計等を行い、周辺環境に配慮した計画となるよう設計を行いました。

## (2) やすらぎを感じる生活空間の形成

### エ)

#### ① 交付金を活用した既存公園の遊具等老朽化施設を計画的に更新

津市公園施設長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して整備を進める予定であったが、交付金の配分が少なく資金不足となり未実施となった。

### オ)

#### ① 自然ガイドブックによる啓発

市内の多様な自然を身近に親しむことを目的に作成した「つし自然ガイドブック」を活用した自然観察会を実施しました。

#### ② 自治会やボランティア団体を対象に「緑化・美化運動」の継続

市民団体や自治会等による河川敷等への季節を感じられる緑の空間づくり等への活動に対し、苗木や花苗、肥料等を支給することで、地域住民が親しめるまちなみ形成や地域コミュニティづくりを促進しました。

【令和元年度支給実績】171 団体

### 【評価・課題】

市管理の公園に関する地元自治会等への管理業務委託について、地域住民の高齢化や減少に伴い、清掃、除草等作業の担い手不足や、管理の水準や頻度に係る地域住民への負担が増加しており、管理業務委託を継続できないケースが出てきています。

また、公園施設の老朽化対策として、交付金を財源として遊具更新を中心に行っていますが、交付金の配分が例年少なく、遊具更新が進まないなか、その他施設の老朽化も進行しているため、計画的な修繕や更新等の対応が必要となっています。

「津市民緑と花の市」の開催や記念樹の配布、生け垣緑化用の苗木配布等により、地域緑化、家庭緑化を促進することができました。また、公共空間の緑化推進を図るため行っている緑化・美化運動については、参加団体が増加しており、市民の緑化・美化運動の意識が向上していることが確認できました。

### 【今後の取組】

公園は憩い、安らぎ、地域コミュニティ、防災といった様々な役割を持っているため、地域のニーズの把握や、公園への愛護心を育むなどの目的で、地域住民の皆様に日常的な管理業務を実施していただきたいと考えているため、今後も同様の考えをもとに、引き続き地元自治会等への管理委託を継続いただけるよう働きかけていくとともに、利用状況や地域ニーズを踏まえて優先順位を付けながら、老朽化施設の更新を進めていきます。

今後も市民による緑化・美化運動が継続して行われるよう周知を図りつつ、幅広い世代の多くの市民の参加を促し、市民との協働による潤いあるまちづくりに取り組みます。



## 《良好な景観の保全》

ア 市民や事業者において、それぞれの役割に応じた良好な景観の形成に向けた取組が積極的に行われるよう、情報発信や啓発などを行い、景観に対する関心の喚起や、良好な景観の形成への取組に対する動機づけ、知識の普及などに努めます。

また、大規模な建築行為や開発行為等については、景観法に基づく届け出による審査のほか、景観アドバイザーによる助言相談等を行うことにより、良好な景観形成を進めます。

イ 屋外広告物については、違反指導を行い、良好な景観の形成、風致の維持の観点から適切な規制・指導を図るとともに、倒壊や落下等による事故防止のため、適切な管理を行うよう事業者等に対し必要な指導等を行います。

### 【令和元年度の取組結果】

ア)

#### ① 各地区の景観啓発事業の紹介（広報津、まちづくり通信など）

良好な景観形成を促進するため、平成31年4月に新たに重点地区に指定した美杉町奥津地区（須郷）、美杉町三多気地区について広報津やホームページで紹介するとともに、重点地区に指定した地域の取組をまちづくり通信などで紹介するなど、景観に関する関心の喚起に努めました。また、市内の子どもたちに「津市の景観」について関心を持ってもらい、良好な景観の形成に対する意識を高めてもらうために、「津市こども景観絵画コンクール」を開催しました。

#### ② 津市民緑と花の市の開催

津市民緑と花の市（秋）を開催し、花木の育て方や、花苗の育成に関する講習会を実施するなど、家庭でできる緑化活動や良好な景観形成への取組に対する動機付けとなるよう緑化・美化意識の啓発を行いました。

※春については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

#### ③ 景観法及び津市景観計画に基づく届け出制度の継続

資料編P55

景観法及び市内全域を計画区域とした津市景観計画における届け出制度の運用により、地域の景観特性を踏まえて、周辺の景観との調和に配慮することを求めることで、良好な景観形成への誘導を図りました。

【令和元年度届出実績】143件

#### ④ 景観アドバイザー制度の活用促進

地域の景観に配慮した建築がされるよう景観アドバイザー制度の周知を行い、民間建築物への当該制度の活用を啓発しました。

イ)

## ④ 屋外広告物許可業務の形成・啓発・指導

三重県屋外広告物条例により屋外広告物の設置時に立地や規模等について必要な規制を行い許可するとともに、違反があった場合には指導を行うなど、良好な景観の形成を目指しました。また、許可申請の更新月に「屋外広告物（掲出物件）自己点検結果報告書」の提出を義務付け、適切に管理するよう指導しました。

### 【令和元年度許可申請件数】

年 度	区 分					
	はり紙・立看板	広告板・広告塔	広告旗	電柱等広告	横断幕・アドバルーン	その他
令和元年度	6 件	1,889 件	182 件	4,831 件	4 件	146 件

### 【評価・課題】

良好な景観形成を促進するため、重点地区に指定した地域の取組をまちづくり通信などで紹介することで、良好な景観づくりに取り組むきっかけを提供することができました。また、景観行政団体として、景観法及び津市景観計画に基づく届け出の審査を行い、建築物等の景観に対する配慮を求めることで、良好な景観形成を図ることができました。

屋外広告物については、三重県の条例に基づき許可や指導を行ったことで、適正な掲示を誘導することができました。さらに適正化旬間に違反建築物への重点的な指導を行い、良好な景観が阻害されないように努めました。

### 【今後の取組】

津市景観計画に基づき、引き続き本市の良好な景観形成の推進に努めます。

屋外広告物については、良好な景観が阻害されないよう県条例に基づき看板等の規制・誘導を行うとともに、違反広告物についても継続的な指導を行っていきます。

また、良好な景観づくりに取り組む事例を情報発信し、良好な景観づくりに対する市民の意識高揚に努めていきます。

### 《歴史文化環境の保全》

- ア 歴史的建造物、史跡、伝統文化、伝統芸能などの歴史的資源が人々の暮らしの中で世代を超えて親しまれ、潤いとやすらぎのある生活環境が継承されるよう、保存、活用に努めます。
- イ 地域の伝統文化や伝統芸能の保存、継承及び普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。
- ウ 歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。

#### 【令和元年度の取組結果】

ア)

- ① 伝統芸能などを披露する場として、歴史的資源（津城跡、北畠氏城館跡など）の活用  
伝統芸能の鑑賞・発表の場として歴史的資源も活用しつつ、令和元年度は、4月に津城跡で津市民薪能を、9月に北畠氏ゆかりの地である多気北畠神社を会場として霧山薪能を開催しました。
- ② 文化財の指定および登録による保護  
新しく国登録有形文化財として、旧一志波瀬郵便局が登録されました。

イ)

- ① 無形民俗文化財等の伝承活動事業への補助金交付  
文化財の保存活用を図るため、無形民俗文化財等の伝承活動や管理事業に係る保護事業26件に対して補助金を交付しました。

#### 【令和元年度実績】

補助対象事業	補助金額
文化財保護事業補助金 管理事業（種子碑ほか7件）	160,000円
文化財保護事業補助金 伝承活動事業（唐人踊ほか17件）	788,000円

- ② 歴史・文化を学習できる機会の提供（親子洞津谷川塾、歴史まるごと体験塾など）  
伝統芸能の保存、活用を目的として、各地に伝わる伝統芸能の披露や食の振る舞いなどを行う郷土芸能ふれあいフェスティバルをサンヒルズ安濃で開催しました。  
小学校4年生から6年生の親子を対象として、津が生んだ江戸時代の国学者谷川士清の啓発事業の親子洞津谷川塾には10組24名の参加があり、小学校5、6年生を対象とした一身田寺内町の歴史・文化の啓発事業として開催の歴史まるごと体験塾は30名の参加がありました。

## (2) やすらぎを感じる生活空間の形成

### 【令和元年度実績】

事業名称	開催日	開催場所	参加者数
親子洞津谷川塾	7月20日(土)	谷川士清旧宅	24名
歴史まるごと体験塾	7月30日(火) 31日(水)	専修寺宿坊ほか	30名

ウ)

#### ① 歴史資料等の収集・発掘

市民から寄贈された津市に歴史に関わる資料538点の収集を行いました。

#### ② 文化財収蔵場所の集約化の推進

埋蔵文化財センター久居分室に施設解体にともない、収蔵資料(埋蔵文化財)を埋蔵文化財センターへ集約し、安濃郷土資料館、白山郷土資料館、芸濃郷土資料館の収蔵資料(民俗資料等)を旧雲林院小学校への集約化を行いました。

#### ③ 民俗芸能や伝統行事等の紹介

市内で開催される無形民俗文化財等の開催情報を市ホームページに掲載し、情報発信を行いました。

### 【評価・課題】

津城跡および多気北畠神社を会場として行った薪能については、多くの方々に普段あまり触れることのない能や狂言の舞台を鑑賞していただくことができた。

郷土芸能ふれあいフェスティバルについては、伝統芸能や郷土芸能の鑑賞及び発表の機会とすることで、継承・振興を図ることができた。

津市の歴史・文化を伝える文化財を未来へ継承していくため、新たな文化財の登録ができたほか、継続的に行っている無形民俗文化財等の伝承活動事業への補助金交付により、文化財の保存、活用を図ることができました。

次世代を担う子どもたちに歴史・文化を学習できる機会の提供として実施している啓発事業については、さらなる広報活動により周知を行っていく必要があります。

### 【今後の取組】

本市のシンボリック文化芸術の一つである能を活かし、文化芸術の振興を図るため、歴史的資源も活用しながら伝統芸能の鑑賞・発表の場として薪能を引き続き開催していく。

地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承に向け、市民の発表や鑑賞の機会を創出するものとして郷土芸能ふれあいフェスティバルを引き続き開催していく。

文化財の指定・登録に関わる調査研究、文化財伝承活動に要する経費等への補助金交付を行うほか、歴史・文化の学習機会の提供や収集した歴史資料の展示・公開など市民への文化財保護に関する普及・啓発を継続して実施します。

## 第5章 計画の実現に向けて

### 1 市民の環境意識の向上

#### (1) 環境に対する市民意識の向上

ア 市民清掃デーなど、市民による清掃活動のさらなる拡大を進めます。

イ 環境だよりや本市の広報紙、ホームページにおいて、継続して啓発活動を行うとともに、様々な機会をとらえて、環境に対する市民意識の向上を図ります。

ウ ごみ減量やリサイクルを始め、日常生活における環境に配慮したライフスタイルへの転換を啓発します。

#### (2) 地域・学校における環境学習

ア つ・環境フェスタなどのイベントやごみダイエツ塾などの講習会の開催を始め、こどもエコクラブ事業や生活かえる！エコエコ家族事業など、幅広い世代の方々が参加し、環境について考える機会を提供します。

#### (3) 地域リーダーの育成

ア 地域や学校、職場等で環境活動を率先して推進するリーダーやボランティアを養成するための学習会などを行うとともに、ボランティア団体の育成を支援します。

イ 自然観察会やボランティア活動などへの参加を積極的に呼び掛け、体験学習の機会の充実を図り、環境意識の高い人材の育成に努めます。

#### (4) 情報発信の充実

ア ごみ処理に係るコスト情報やごみ分別方法、リサイクルの大切さなど様々な情報を分かりやすく、また、興味をもってもらえるように工夫し、情報発信を行います。

イ 環境に関わる情報を様々な機会を捉えて発信します。

### 【令和元年度の取組結果】

#### (1) 環境に対する市民意識の向上

リサイクルの推進やごみ減量（生ごみの水切り）の取組、市民清掃デーへの参加、グリーンカーテン普及促進などの環境に負荷の少ないライフスタイルの紹介、空き家対策などについて、環境だより、広報津、市ホームページにおいて啓発するとともに、つ・環境フェスタや津まつりなどにおいては、環境に関わる展示や体験を行い、環境意識の向上を図りました。

#### (2) 地域・学校における環境学習

地域の集会所等へ出向いての「ごみダイエツ塾（出前講座）」や「小学校環境学習」を行うとともに、つ・環境フェスタやこどもエコクラブ事業を通じて環境に関する意識の高揚を図りました。

#### (3) 地域リーダーの育成

山と川と海のネットワーク推進の一環として、環境保全活動に携わる人材育成を目的

## 1 市民の環境意識の向上

とした環境基礎講座を開催しました。講座には10名が参加され、座学や施設見学を通じ、環境に関わる知見を広げてもらうとともに、リーダー的役割を担う人材育成に努めました。

### (4) 情報発信の充実

ごみの減量につながる生ごみの水切り方法や生ごみ処理機等購入費補助制度、間違えやすいごみの分別方法などについて情報発信するとともに、地域へ出向いて行う「ごみダイエット塾（ごみ減量等出前講座）」の活用についてPRしました。

また、環境学習センターでは、古着を再利用し布ぞうりを作るリメイク講習会やリサイクルセンター併設の自然観察の森において野鳥観察会を開催するなど、環境に関心を寄せてもらうための環境学習会を開催しました。

### 【評価・課題】

リサイクル、ごみ減量、地球温暖化防止、空き家対策など、より暮らしやすい環境づくりに向けた取組について、環境だより、広報津、市ホームページにおいて広く情報発信するとともに、ごみダイエット塾（出前講座）や環境学習会を開催し、市民の方々に直接、PRすることができました。

また、つ・環境フェスタや津まつりなどイベントを開催し、様々な分野の展示や発表の場、体験コーナーを設け、楽しみながら学ぶことができる機会を設け、環境意識の向上を図ることができました。

しかし、情報発信の内容が同じような内容になっている感もあるため、市民の皆さんにもっと興味を持ってもらえるようPR方法を工夫することが必要です。

### 【今後の取組】

今後も、より暮らしやすい環境づくりに向けて、いろいろな分野の啓発活動を行っていきます。また、その際には市民の皆さんに興味を持ってもらえるよう工夫しながら、広く情報発信していきます。

さらに、令和元年9月1日から開始した「ごみ分別アプリ」を有効に活用し、情報発信を充実させていきます。

## 2 協働による環境活動の促進

### (1) 環境活動への支援

- ア 資源ごみ回収活動の重要性や市の支援制度についての情報発信を行い、資源ごみ回収（廃品回収）活動への参加を広く呼び掛けます。
- イ 自治会や団体、事業所など、市民によるボランティア活動を支援します。

### (2) 各主体の連携による環境活動の促進

- ア 市は率先して、環境マネジメントシステムに基づく環境に配慮した行動に取り組むとともに、市民・事業者などが連携して、環境への負荷の少ない活動に取り組むよう行動します。
- イ 環境に関わるボランティア団体等の活動を把握し支援するとともに、それらの連携を促進していきます。

### (3) 環境学習センターの活用

- ア 環境学習センターが市民の環境学習・環境活動の拠点となり、人材育成・人材活用の場となる体制づくりに積極的に取り組みます。
- イ 環境学習センターの活動について情報発信を行い、子どもから大人まで幅広い世代の方々に活用される事業を展開します。
- ウ 国や県、高等教育機関等と連携し、市民が様々な環境問題等について、考え、学ぶことができる機会づくりを進めます。

## 【令和元年度の取組結果】

### (1) 環境活動への支援

リサイクルの推進により、ごみの減量化を図るため、リサイクル資源回収活動報奨金制度について情報発信し、自治会や子供会等に資源物の集団回収の実施を奨励しました。令和元年度は 246 団体が取り組まれ、2,467 トンの資源が回収されました。

### (2) 各主体の連携による環境活動の促進

市では、市内の環境マネジメントシステム推進を図るため、内部環境監査員の養成し、次の事務事業の環境への負荷の低減に努めました。また、市内でのクールシェア、ウオームシェアを呼びかけるとともに、地球温暖化防止対策として、庁舎の照明を午後 8 時以降消灯するライトダウンデーを設けるなど環境に配慮した行動に取り組みました。

### (3) 環境学習センターの活用

環境学習センターでは、古着を再利用して、布ぞうりや巾着袋を作るリメイク講習会や自然観察の森で野鳥観察会やアサギマダラ観察会などの学習会を開催し、217 名の参加がありました。

また、リサイクルセンターの見学を受け入れており、小学校等の社会見学が 32 校 1,519 人の児童・生徒が訪れ、その他自治会などからの見学を合せて、1,842 人の見学者がありました。また 3R などに取り組む自主活動団体による活動も当センターで行われ、延べ 698 人に利用されました。



## 2 協働による環境活動の促進

さらに、新雲出川物語推進委員会主催の環境基礎講座や三重県環境学習情報センター主催の人材育成講座を開催し、県や団体等との連携により、市民が環境について学び、考える機会づくりに努めました。

### 【評価・課題】

自治会や子供会等による資源物の集団回収は、246 団体が取り組まれ、資源の循環に寄与されていますが、数年参加団体は横ばい傾向にあることから、継続した啓発活動を行うとともに、集団回収に取り組みやすくなるような支援が必要です。

環境に関わるボランティア団体は参加者が固定化している状況が見られるため、団体間の交流を促し、活動が活性化していくような支援が必要です。

また、使わなくなった物を活用したリメイク講習会や自然に親しむ観察会などを開催や施設見学の受入等により、環境に対する意識高揚を図っていますが、まだ十分な状況ではないことから、多種多様な学習会の開催や情報発信を行い、環境学習の内容を充実させる必要があります。

### 【今後の取組】

自治会や子供会等による資源の集団回収活動を促進するため、リサイクル資源回収活動報奨金制度を継続し、資源物の集団回収を支援していきます。また、団体や市民に環境活動への参加を呼びかけるとともに、取り組みやすくなるような方法を研究していきます。

また、環境ボランティア団体の交流・連携を勧めるため、エコサークル事業に取り組んでいきます。

環境学習の推進については、環境活動団体や国や県、教育機関と連携して、多種多様な学習会の開催や情報発信を行い、環境学習の内容を充実させていきます。



### 3 環境への負荷の少ない事業活動

(1) 環境マネジメントシステムの導入促進

ア 環境マネジメントシステムを踏まえた環境への負荷の少ない活動に努めるよう事業者や各種団体等へ啓発します。

**【令和元年度の実績】**

(1) 環境マネジメントシステムの導入促進

事業活動においても環境への負荷の少ない活動に努めてもらうため、事業所等での M-EMS 認証取得を推奨し、認証取得に係る経費の一部を支援しました。

**【評価・課題】**

事業所等での事業活動においても、環境負荷の少ない活動に努めるよう継続して呼びかけることが大切です。SDGs 経営や ESG 投資など、新たな視点についても啓発を推進します。

**【今後の取組】**

環境への負荷の少ない事業活動を呼びかけるとともに、M-EMS 取得補助金を継続し、事業者の環境への負荷の少ない活動への取組を支援していきます。一般廃棄物減量化計画において環境負荷の少ない活動への取組を調査するとともに、市ホームページでも他事業所の優良取組について発信していきます。

# 資料編

# 資料編目次

## 《環境目標1》「自然と調和した恵み豊かな環境」

- (1) 自然環境の保全
  - 山と川と海のネットワークの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
    - ・山と川と海のネットワーク
  - 生物多様性の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
    - ・自然体験型学習会
- (2) 公益的機能の維持増進
  - 森林環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
    - ・皆伐跡地等への広葉樹植栽
    - ・企業の森制度による森づくり
    - ・森林環境創造事業
    - ・森林経営計画作成促進に対する支援
    - ・みえ森と緑の県民税市町交付金事業
  - 農地環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
    - ・農地流動化対策事業
    - ・農村交流支援事業
    - ・有害鳥獣による農作物の被害防止対策

## 《環境目標2》「資源が循環する社会環境」

- (1) 資源循環の推進
  - 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進・・・・・・・・・・ 10
    - ・ごみの排出量とリサイクル率
    - ・一般廃棄物の処理状況フロー図
    - ・ごみ処理事業経費の状況
    - ・事業系一般廃棄物減量化計画書による年間発生量の実績
    - ・レジ袋辞退率の実績
    - ・くるりんフード事業実績
    - ・くるりんペーパー事業実績
    - ・リサイクル資源回収活動報奨金交付実績
    - ・エコ・ステーションでの回収実績
    - ・生ごみ処理機等購入補助金交付実績
    - ・ごみメールマガジン登録数
  - ごみの適正分別と収集（啓発事業開催実績）・・・・・・・・・・ 21
    - ・ごみダイエット塾開催実績
    - ・小学校環境学習開催実績
    - ・リサイクルセンター施設見学者数
    - ・夏休みこどもごみ教室参加者数
    - ・ごみ一時集積所設置等事業補助金

○ 不法投棄の防止	23
・不法投棄対応件数	
・警告看板設置件数	
・消火器処理実績	
・タイヤ処理実績	
・不法投棄家電処理実績	
○ 廃棄物の適正処理（一般廃棄物処理施設の処理実績）	24
・西部クリーンセンター	
・クリーンセンターおおたか	
・死亡獣等焼却処分場	
・リサイクルセンター	
・一般廃棄物最終処分場	
・白銀環境清掃センター	
・安芸・津衛生センター	
・クリーンセンターくもず	
・一般廃棄物最終処分量の実績	
(2) 新エネルギーの適正な普及	
○ 新エネルギーの利用促進	31
・太陽光発電システム等補助金交付実績	
・新エネルギー学習会開催実績	
・新エネルギー利用設備導入実績	
・公共施設等への新エネルギー導入実績	
・バイオディーゼルフェューエル（BDF）使用実績	
・バイオマス発電の施設の整備	
○ 温室効果ガスの削減対策の推進	35
・エコエコ家族認定状況	
・小学校での環境学習講座	
・夏休み子どもエコチャレンジ	
・クールアースデー実施状況	
・家庭温暖化対策講座	
○ 省エネルギー対策の推進	37
・環境マネジメントシステム推進	
《環境目標3》「快適で暮らしやすい生活環境」	
(1) 衛生的な生活環境の保全	
○ 空き地・空き家等の適正管理	38
・管理が不適正な空き地等の所有者への指導実績	
○ 愛護動物の適正飼養	38
・狂犬病予防対策業務実施状況	

- 公害の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
  - ・公害苦情等の指導件数
  - ・大気環境調査の実施状況
  - ・水質環境調査の実施状況
  - ・ダイオキシン類測定業務実施状況
  - ・工場排水水質分析・農薬等分析業務実施状況
  - ・そ族昆虫駆除支援状況
- 生活排水対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
  - ・生活排水処理アクションプログラムによる取組実績
  - ・浄化槽設置整備事業補助金交付実績
  - ・共同汚水処理施設修繕工事補助金の交付実績
- (2) やすらぎを感じる生活空間の形成
  - 緑の保全・創出と水辺環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
    - ・津市緑化基金を活用した記念樹配布実績
  - 良好な景観の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
    - ・景観法に基づく届け出件数
    - ・三重県屋外広告物許可申請件数

市民の環境意識の向上

- 市民の環境意識の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
  - ・「つ・環境フェスタ」開催状況
  - ・市民清掃デー参加状況
  - ・環境だより発行状況
  - ・こどもエコクラブ登録状況
- 環境学習センターの取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
  - ・講習会開催実績
  - ・講演会・イベント等開催実績
  - ・工房利用実績
  - ・施設利用者数実績

津市環境基本計画実行計画における取組の指標の進捗状況

環境 目標	施 策	数値目標項目		令和4年度	令和9年度	令和元年度
				目標値	目標値	実績
1 自然と調和した恵み豊かな環境	(1)自然環境の保全	エコサークル登録者数	登録団体数	10団体	20団体	5団体
	山と川と海のネットワークの推進		登録個人数	15人	30人	7人
2 資源が循環する社会環境	(1)資源循環の推進	1人1日当たりのごみの排出量		984g	950g	1,023g
	3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	リサイクル率		28.0%	34.0%	22.1%
		事業系一般廃棄物の年間排出量		29,406 t	25,983 t	29,367 t
	(2)新エネルギーの適正な普及 新エネルギーの利用促進	市内の再生可能エネルギーの発電出力		391,647 Kw	456,922 Kw	403,801 Kw
3 快適で暮らしやすい生活環境	(1)衛生的な生活環境の保全	不適正管理の空き家・空き地件数	特定空き家件数	113件	100件	147件
	空き地・空き家等の適正管理		雑草相談件数	700件	622件	645件
	(2)やすらぎを感じる生活空間の形成 緑の保全・創造と水辺環境の保全	市民清掃活動への参加者数（人口に対する割合）		25.5%	26.5%	25.4%

## 《環境目標1》「自然と調和した恵み豊かな環境」の取組実績

## (1) 自然環境の保全

## ○ 山と川と海のネットワークの推進

## 山と川と海のネットワークの取組実績

年 度	事 業 名	参加者数(人)
平成 20 年度	山川海ネットワークの森造成事業	132
	海岸パトロール	20
	浜辺交流事業（美杉南小・香良洲小）	54
平成 21 年度	山川海ネットワークの森下草刈り	41
	雲出川・家城ラインエコウォーク	180
	浜辺学習会	175
平成 22 年度	山川海ネットワークの森交流会	(植 栽) 132 (木工教室) 41
	香良洲海岸清掃活動&地引網体験	226
	山川海ネットワークの森下草刈り	52
平成 23 年度	香良洲海岸清掃活動&地引網体験	193
	山川海ネットワークの森下草刈り	32
	雲出川・家城ラインエコウォーク	78
平成 24 年度	雲出川エコウォーク	54
	香良洲海岸清掃活動&地引網体験	228
	山川海ネットワークの森下草刈り	20
	雲出川フォーラム	70
	美杉アートづくり教室	23
平成 25 年度	雲出川懇談会	43
	香良洲海岸清掃活動&地引網体験	250
	山川海ネットワークの森植樹	46
	雲出川フォーラム	40
	雲出川写真展	660
平成 26 年度	香良洲海岸清掃活動&地引網体験	287
	美杉なあなあエクスカッション (植樹活動&交流会)	255
平成 27 年度	香良洲海岸清掃活動&地引網体験	360
	君ヶ野ダム湖畔エコウォーク	30
	山川海ネットワークの森Ⅱ植樹	32

平成 28 年度	香良洲海岸清掃活動&地引網体験	270
	リバーパーク真見エコウォーク	39
	山川海ネットワークの森Ⅱ植樹	53
平成 29 年度	香良洲海岸清掃活動&地引網体験	272
	リバーパーク真見エコウォーク	41
平成 30 年度	香良洲海岸清掃活動	110
	リバーパーク真見エコウォーク	27
	環境基礎講座（全 5 回）	20
令和元年度	香良洲海岸清掃活動	282
	リバーパーク真見エコウォーク	53
	環境基礎講座（全 5 回）	10
	波瀬地区植樹祭 ※波瀬まちづくり協議会との共催	130



## (1) 自然環境の保全

## ○ 生物多様性の保全

## 自然体験型学習会の開催実績

年 度	区 分	場 所	参加人数 (人)
平成 20 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	56
	環境月間記念植樹	クリーンセンターおおたか	100
	水生生物調査学習会	細谷川長野小学校付近	23
平成 21 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	69
	環境月間記念植樹	安濃中央総合公園	80
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	17
平成 22 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	71
	環境月間記念植樹	本城山青少年公園	62
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	19
平成 23 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	75
	環境月間記念植樹	榊原ふるさと公園	70
	水生生物調査学習会	美里町川上地内	39
平成 24 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	72
	環境月間記念植樹	安濃中央総合公園	69
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	35
平成 25 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	53
	環境月間記念植樹	香良洲公園	70
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	23
平成 26 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	83
	環境月間記念植樹	西山公園(香良洲町)	97
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	30
	自然観察会	片田田中町地内	9
平成 27 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	76
	環境月間記念植樹	西山公園(香良洲町)	83
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	44
	自然観察会	広明町地内	13
平成 28 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	66
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター付近	93
	水生生物調査学習会	水生生物調査学習会	42
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	15
平成 29 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	76
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター付近	82
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	35
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	3

平成 30 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	63
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター併設自然観察の森	69
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	41
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	20
令和元年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	37
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター併設自然観察の森	61
	田中川干潟生き物観察会	田中川干潟付近	47
	親子昆虫観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	39
	アサギマダラ観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	14
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	21

(2) 公益的機能の維持増進

(2) 公益的機能の維持増進

○ 森林環境の保全

皆伐跡地等への広葉樹植栽 取組実績

年 度	面積 (a)
平成 20 年度	359.1
平成 21 年度	254.1
平成 22 年度	104.0
平成 23 年度	57.0
平成 24 年度	97.0
平成 25 年度	97.0
平成 26 年度	61.0
平成 27 年度	5.0
平成 28 年度	12.5
平成 29 年度	18.5
平成 30 年度	24.2
令和元年度	22.0

「企業の森」制度による森づくり取組実績

年 度	企業名簿	事業地域	面積 (ha)
平成 20 年度	株式会社百五銀行	白山地域	0.50
平成 21 年度	J Aバンク三重	安濃地域	0.41
平成 22 年度	津商工会議所	津地域(御殿場海岸)	1.93
	株式会社百五銀行	美杉地域	0.55
	N T T西日本三重支店	白山地域	4.50
平成 23 年度	—	—	—
平成 24 年度	コープみえ	美杉地域	0.25
平成 25 年度	J Aバンク三重	美杉地域	0.50
平成 26 年度	セブン-イレブン記念財団	美里地域	1.16
平成 27 年度	—	—	—
平成 28 年度	—	—	—
平成 29 年度	井村屋グループ株式会社	白山地域	5.50
平成 30 年度	—	—	—
令和元年度	—	—	—

※三重県の「企業の森」制度による取組実績より抜粋（取組開始年度を記載）

## 森林環境創造事業

取組状況（場所：榊原町・芸濃町・美里町・白山町・美杉町地内）

年 度	間伐 (ha)	受光伐 (ha)	下刈 (ha)	歩道整備 (m)
平成 20 年度	119.71	22.82	17.73	500.00
平成 21 年度	133.86	11.69	17.85	1500.00
平成 22 年度	39.95	18.45	11.15	0
平成 23 年度	5.85	62.07	9.53	0
平成 24 年度	101.19	54.99	9.28	0
平成 25 年度	68.25	12.01	9.28	0
平成 26 年度	108.25	4.25	4.02	0
平成 27 年度	44.60	1.50	0	0
平成 28 年度	24.84	0.62	0	0
平成 29 年度	10.59	0.37	0	0
平成 30 年度	11.71	0	0	0
令和元年度	14.61	0	0	0

「森林経営計画作成促進」に対する支援状況

年 度	施業内容	面積 (ha)
平成 20 年度	施業実施区域の明確化作業等	1,359.62
平成 21 年度	施業実施区域の明確化作業等	1,444.06
平成 22 年度	施業実施区域の明確化作業等	1,398.60
平成 23 年度	森林経営計画作成促進等	247.88
平成 24 年度	森林経営計画作成促進等	180.00
平成 25 年度	森林経営計画作成促進等	130.60
平成 26 年度	森林経営計画作成促進等	189.54
平成 27 年度	森林経営計画作成促進等	64.00
平成 28 年度	森林経営計画作成促進等	120.00
平成 29 年度	森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	440.00
平成 30 年度	森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	580.00
令和元年度	森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	400.00

## (2) 公益的機能の維持増進

## みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した取組実績

	配分	対策区分	事業名	内容	事業費 (交付金額) (千円)
令和元年度	基本枠	土砂や流木による被害を出さない森林づくり	林地残材搬出促進事業	間伐で発生した林地残材をエネルギー利用するため搬出・運搬経費の一部を支援 5,128 m <sup>3</sup>	35,849 (35,815)
		森を育む人づくり	夏休み森と緑の親子塾	木工製品の組み立てや丸太切り体験 開催回数1回 16組44名	194 (194)
			まるごと林業体験	間伐体験やチェーンソーによる丸太切り体験や木工作品づくり 開催回数1回 20名	299 (299)
			美里水源の森整備事業	野外体験(樹種銘板づくり)や林業体験(シイタケ菌打ち) 開催回数2回 45名	250 (250)
	連携枠	—	流域防災機能強化対策事業	溪流沿いの森林における間伐 芸濃町河内地内、美里町桂畑地内 48.71ha	37,202 (37,201)
			森林再生力強化対策事業	新植地等への獣害防止施設の整備に係る支援 9,438m	6,438 (6,438)
					合計

## ○ 農地環境の保全

## 農地流動化対策事業による取組実績

年 度	認定農業者等担い手 への農地集積（h a）
平成 20 年度	83
平成 21 年度	72
平成 22 年度	69
平成 23 年度	74
平成 24 年度	84
平成 25 年度	74
平成 26 年度	57
平成 27 年度	229
平成 28 年度	131
平成 29 年度	120
平成 30 年度	89
令和元年度	77

## 農村交流支援事業による取組実績

年 度	農林水産まつり （人）	食彩フェスタ in つ（人）
平成 20 年度	約 18,000	約 30,000
平成 21 年度	約 10,000	約 30,000
		津産津消・食の彩典（人）
平成 22 年度	約 10,000	約 30,000
平成 23 年度	約 15,000	約 30,000
平成 24 年度	約 12,000	約 20,000
		津産津消・食の彩発見フェア（人）
平成 25 年度	約 12,000	約 15,000
平成 26 年度	約 15,000	約 22,000
平成 27 年度	約 15,000	開催せず
		津ぶぞろいフェス（人）
平成 28 年度	約 15,000	48 事業者 68 人 関係者約 30 人
平成 29 年度	約 16,000	29 事業者、関係者約 30 人
		津の恵み交流会
平成 30 年度	約 17,000	2 事業者、関係者約 100 人
令和元年度	約 14,000	2 事業者、関係者約 80 人

(2) 公益的機能の維持増進

有害鳥獣による農作物の被害防止対策の取組状況

年 度	有害鳥獣の捕獲			防護柵の設置 (m)
	シカ (頭)	サル (頭)	イノシシ (頭)	
平成 20 年度	435	70	181	59,706
平成 21 年度	1,603	63	153	47,394
平成 22 年度	2,536	131	315	61,399
平成 23 年度	2,655	109	173	49,067
平成 24 年度	2,966	130	1,448	43,533
平成 25 年度	3,096	80	786	45,394
平成 26 年度	3,341	77	1,053	29,760
平成 27 年度	4,063	225	1,295	19,369
平成 28 年度	3,731	138	1,266	65,324
平成 29 年度	3,352	192	1,364	51,462
平成 30 年度	3,007	235	1,337	37,151
令和元年度	2,896	266	1,343	26,035

## 《環境目標2》「資源が循環する社会環境」の取組実績

## (1) 資源循環の推進

## ○ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

1人1日当たりのごみ排出量とごみのリサイクル率の状況

年 度	1人1日当たりごみ排出量	ごみのリサイクル率
平成20年度	1,080 g	28.9%
平成21年度	1,034 g	26.9%
平成22年度	994 g	23.9%
平成23年度	997 g	24.2%
平成24年度	998 g	24.4%
平成25年度	1,067 g	23.1%
平成26年度	1,076 g	22.4%
平成27年度	1,048 g	23.1%
平成28年度	1,032 g	23.3%
平成29年度	1,019 g	22.3%
平成30年度	1,006 g	21.7%
令和元年度	1,023 g	22.1%

図1 ごみ排出量の実績

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
家庭系ごみ(t)	84,536	85,197	79,657	76,216	75,340	75,753	76,403	76,080	73,199	73,081	72,896	73,459	74,568
事業系ごみ(t)	40,893	28,708	28,743	27,493	28,658	29,929	33,224	34,140	34,190	31,940	30,452	29,375	29,378
合計(t)①	125,429	113,905	108,400	103,709	103,998	105,682	109,627	110,220	107,389	105,021	103,348	102,834	103,946
総資源化量(t)⑥	34,853	32,969	29,183	24,805	25,215	25,781	25,288	24,652	24,794	24,433	23,077	22,267	23,023
可燃ごみ(t)	86,988	82,935	81,136	79,140	80,438	81,907	84,349	87,123	85,585	85,801	84,342	83,442	84,514
最終処分量(t)	15,883	10,730	10,325	11,274	9,504	9,514	11,589	10,168	7,410	1,426	1,383	1,366	1,359
リサイクル率	27.8%	28.9%	26.9%	23.9%	24.2%	24.4%	23.1%	22.4%	23.1%	23.3%	22.3%	21.7%	22.1%

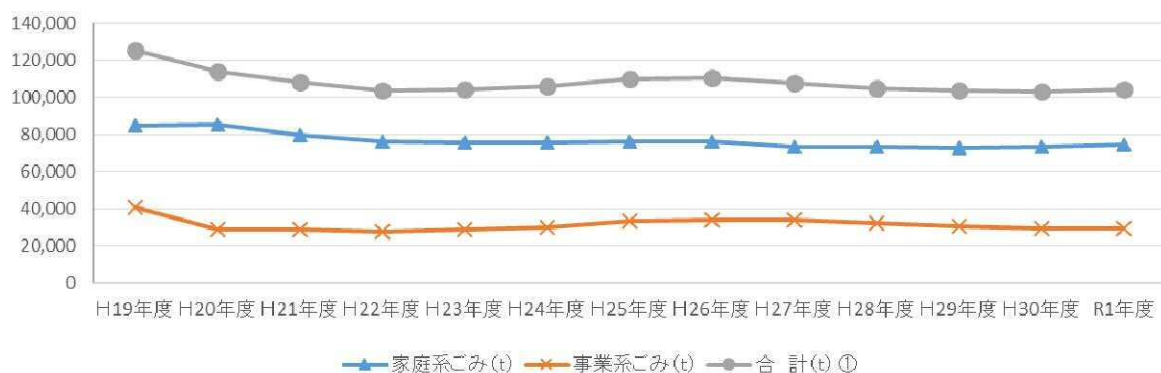
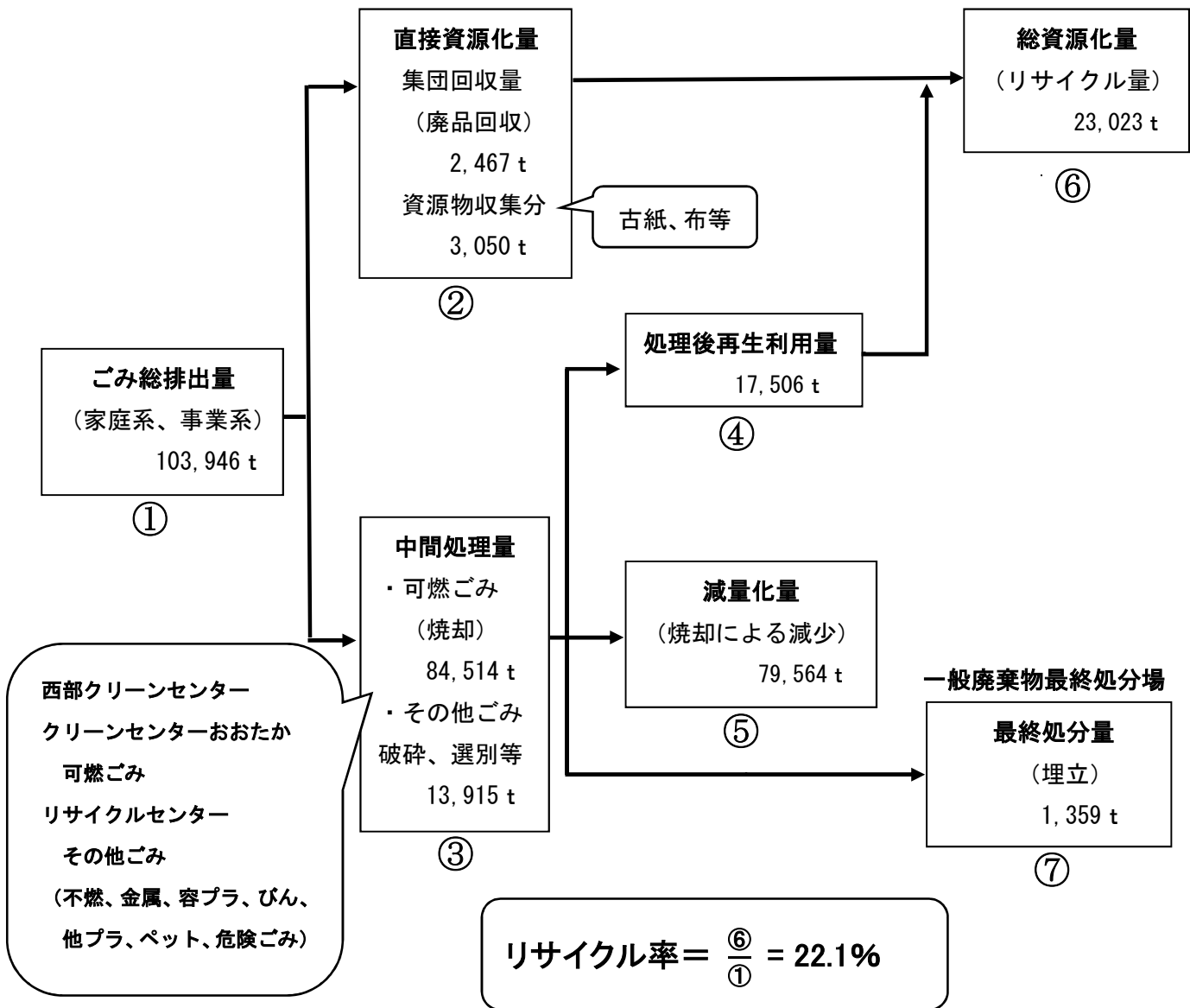




図2 一般廃棄物の処理状況フロー



## ごみ処理事業経費の実績

年 度	ごみ処理事業経費 (千円)	人口 (人)	1人当たり経費 (円)	全国平均 (円)
平成20年度	3,912,696	288,888	13,544	14,247
平成21年度	4,278,516	287,352	14,889	14,326
平成22年度	4,275,487	285,728	14,963	14,446
平成23年度	4,366,331	284,867	15,328	14,081
平成24年度	4,512,903	282,904	15,952	13,906
平成25年度	5,708,943	281,547	20,277	14,417
平成26年度	7,312,536	280,647	26,056	15,200
平成27年度	11,267,139	280,016	40,200	15,200
平成28年度	4,572,843	278,674	16,409	15,300
平成29年度	4,483,178	277,797	16,138	15,500
平成30年度	4,518,206	276,660	16,331	16,400
令和元年度	4,565,748	275,105	16,596	集計中

※平成25～27年度のごみ処理事業経費については、新最終処分場及び津市リサイクルセンターの建設費が含まれています。人口は三重県公表の推計人口。

## (1) 資源循環の推進

## ごみ処理事業経費の内訳実績 H21～H25

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度		
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	0	0	0	0		
		中間処理施設	0	0	0	151,203	304,589	
		最終処分場	336,531	430,397	222,267	212,477	1,039,576	
		その他	0	3,295	0	0	70,298	
	調査費	0	0	0	0	0		
	小計	336,531	433,692	222,267	363,680	1,414,463		
処理及び維持管理費	人件費	一般職	513,395	532,381	504,039	437,031	423,038	
		技能職	収集運搬	732,335	512,065	519,943	520,597	272,099
			中間処理	50,515	66,572	39,147	31,612	19,079
			最終処分	36,903	41,399	44,875	45,644	43,338
	処理費	収集運搬費	74,217	34,684	58,518	58,722	30,827	
		中間処理費	612,430	516,802	565,991	340,502	289,668	
		最終処分費	193,340	229,830	251,542	207,606	206,242	
	車両等購入費	25,284	0	0	0	0		
	委託費	収集運搬費	482,627	700,166	1,085,528	1,159,851	1,441,404	
		中間処理費	390,380	391,066	434,234	686,234	912,858	
		最終処分費	787,303	766,666	566,064	587,627	594,321	
		その他	6,641	13,373	38,334	40,622	28,718	
	小計	3,905,370	3,805,004	4,108,215	4,116,048	4,261,592		
	その他	36,615	36,791	35,849	33,175	32,888		
合計	4,278,516	4,275,487	4,366,331	4,512,903	5,708,943			

## ごみ処理事業経費の内訳 H26～H30

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	6,703	46,364	52,724	23,868	7,619	
		中間処理施設	1,174,980	3,441,491	0	0	0	
		最終処分場	1,461,278	3,319,980	0	0	0	
		その他	114,037	0	0	0	0	
	調査費	0	0	0	0	0		
	小計	2,756,998	6,807,835	52,724	23,868	7,619		
処理及び維持管理費	人件費	一般職	330,209	382,352	284,820	265,096	267,097	
		技能職	収集運搬	244,519	246,229	267,828	265,338	276,964
			中間処理	85,199	27,649	30,531	31,126	31,722
			最終処分	86,112	26,344	0	0	0
	処理費	収集運搬費	10,876	16,951	28,841	33,789	37,406	
		中間処理費	277,783	241,406	270,219	309,434	355,525	
		最終処分費	145,536	123,612	51,880	52,463	49,785	
	車両等購入費	0	12,712	0	4,544	9,779		
	委託費	収集運搬費	1,578,702	1,651,521	1,678,139	1,705,589	1,721,032	
		中間処理費	955,621	930,808	1,553,436	1,446,288	1,416,159	
		最終処分費	611,630	514,772	220,676	199,283	206,687	
		その他	114,115	157,794	0	0	0	
	小計	4,440,302	4,332,150	4,386,370	4,312,950	4,372,156		
	その他	115,236	127,154	133,749	146,360	138,131		
合計	7,312,536	11,267,139	4,572,843	4,483,178	4,517,906			

## (1) 資源循環の推進

## 【ごみ処理事業経費の内訳】 R1

		令和元年度		
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	0	
		中間処理施設	0	
		最終処分場	38,920	
		その他	0	
	調査費		0	
	小 計		38,920	
処理及び維持管理費	人件費	一般職	241,650	
		技能職	収集運搬	276,737
			中間処理	31,253
			最終処分	0
	処理費	収集運搬費	26,298	
		中間処理費	310,285	
		最終処分費	62,151	
	車両等購入費		0	
	委託費	収集運搬費	1,757,216	
		中間処理費	1,498,819	
		最終処分費	198,028	
		その他	0	
	小 計		4,402,437	
	その他		140,300	
合 計		4,581,657		

## 事業系一般廃棄物減量化計画書による年間発生量の実績

就業人員 1 人当たり事業系一般廃棄物の年間発生量 (kg)					
年 度	OA用紙	新聞、雑誌、 ダンボール	機密書類	塵芥類 紙くず等	合 計
平成 19 年度	31.6	249.7	23.0	232.7	537.0
平成 20 年度	29.3	223.5	23.0	183.0	458.8
平成 21 年度	41.5	174.5	25.6	176.6	418.2
平成 22 年度	29.9	217.1	23.5	188.5	459.0
平成 23 年度	24.6	197.0	25.7	208.7	456.0
平成 24 年度	26.4	189.4	41.9	192.7	450.4
平成 25 年度	25.5	190.0	95.5	199.0	510.0
平成 26 年度	35.3	213.4	24.9	216.5	490.1
平成 27 年度	41.5	178.3	43.5	203.6	466.8
平成 28 年度	18.5	145.3	30.9	160.2	354.9
平成 29 年度	16.1	163.6	35.5	176.1	391.3
平成 30 年度	16.0	144.7	29.5	155.4	345.6
令和元年度※	19.0	164.6	18.6	167.5	369.7

※ 令和元年度は暫定値

(1) 資源循環の推進

レジ袋辞退率の実績

年 度	レジ袋辞退率
平成 21 年度	89.95%
平成 22 年度	89.90%
平成 23 年度	89.42%
平成 24 年度	89.11%
平成 25 年度	89.24%
平成 26 年度	88.32%
平成 27 年度	89.22%
平成 28 年度	89.37%
平成 29 年度	88.35%
平成 30 年度	88.21%
令和元年度	88.89%

ぐるりんフード事業の取組実績

年 度	校数	収集量 (kg)	納入堆肥 (kg)
平成 20 年度	4	11,548	5,437
平成 21 年度	8	19,336	4,684
平成 22 年度	8	18,684	7,336
平成 23 年度	8	11,877	11,548
平成 24 年度	8	12,300	13,472
平成 25 年度	8	12,880	6,656
平成 26 年度	4	5,573	4,096
平成 27 年度	8	7,179	4,400
平成 28 年度	8	5,770	6,840
平成 29 年度	8	11,562	6,085
平成 30 年度	4	5,462	2,894
令和元年度	8	10,927	5,682

## くるりんペーパー事業の取組実績

年 度	箇所数	収集量 (kg)	納入トイレットペーパー (個)
平成 20 年度	10	4,000.0	15,000
平成 21 年度	19	6,150.0	15,500
平成 22 年度	18	10,360.0	16,700
平成 23 年度	66	57,912.7	60,000
平成 24 年度	66	59,612.9	55,600
平成 25 年度	66	61,465.3	56,900
平成 26 年度	64	56,173.5	56,200
平成 27 年度	64	54,627.7	54,600
平成 28 年度	64	51,726.5	51,500
平成 29 年度	62	46,991.5	50,300
平成 30 年度	62	45,422.6	52,800
令和元年度	62	44,150.0	54,000

## リサイクル資源回収活動報奨金交付事業の取組実績

年 度	団体数	回収量 (t)	金額 (円)
平成 19 年度	242	4,333	26,196,773
平成 20 年度	251	4,246	25,484,520
平成 21 年度	257	3,891	23,343,317
平成 22 年度	272	3,955	23,731,325
平成 23 年度	265	3,919	23,511,709
平成 24 年度	267	3,879	23,270,368
平成 25 年度	264	3,831	22,989,334
平成 26 年度	257	3,622	21,729,241
平成 27 年度	250	3,286	19,714,545
平成 28 年度	259	3,004	18,021,652
平成 29 年度	256	2,871	17,230,081
平成 30 年度	239	2,665	15,989,512
令和元年度	246	2,467	14,804,235



## (1) 資源循環の推進

## エコ・ステーションでの回収実績

単位 (kg)

平成 26 年度	新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	衣類・布類	ペットボトル
	162,340	180,750	109,910	1,400	99,270	25,630
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	
	40,230	35,800		57,920	19,630	
				合計	732,880	
平成 27 年度	新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	衣類・布類	ペットボトル
	147,730	181,670	118,530	1,480	104,370	28,950
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	
	44,130	35,950		64,720	22,650	
				合計	750,180	
平成 28 年度	新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	衣類・布類	ペットボトル
	124,600	140,690	100,570	1,630	97,530	27,220
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	38,420	28,900		51,890	17,390	19,440
				合計	648,280	
平成 29 年度	新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	衣類・布類	ペットボトル
	112,130	142,800	105,630	1,400	102,990	25,220
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	37,790	27,990		51,950	24,390	23,320
				合計	655,610	
平成 30 年度	新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	衣類・布類	ペットボトル
	99,290	142,660	103,110	1,450	105,080	17,150
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	39,670	32,910		61,750	26,820	29,170
				合計	659,060	
令和 元 年度	新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	衣類・布類	ペットボトル
	100,430	169,200	113,890	1,700	142,210	38,700
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	74,120	39,800		98,160	12,690	118,880
				合計	909,780	

## 生ごみ処理機等購入補助金交付実績

年 度	生ごみ処理機		コンポスト容器	
	基数	金額（円）	基数	金額（円）
平成 19 年度	243	5,724,300	37	83,900
平成 20 年度	275	6,501,400	75	168,900
平成 21 年度	155	3,755,000	94	205,400
平成 22 年度	149	3,614,900	50	104,500
平成 23 年度	121	2,966,100	43	99,400
平成 24 年度	120	2,961,300	33	66,600
平成 25 年度	130	3,186,300	61	116,400
平成 26 年度	102	2,396,100	47	96,400
平成 27 年度	82	1,990,700	44	94,800
平成 28 年度	97	2,327,700	37	79,400
平成 29 年度	71	1,643,200	32	70,600
平成 30 年度	117	2,432,100	32	70,700
令和元年度	75	1,668,400	40	90,300

## ごみメールマガジン登録実績

年 度	登録者数
平成 20 年度	96
平成 21 年度	112
平成 22 年度	118
平成 23 年度	140
平成 24 年度	157
平成 25 年度	191
平成 26 年度	212
平成 27 年度	228
平成 28 年度	190
平成 29 年度	208
平成 30 年度	229
令和元年度	—

市民を対象にごみの分別や減量、ごみ出しのルール等について案内するメールマガジン「ごみ・ぶんべ津＝分ければ資源・混ぜればごみ」を運営し、登録者に対し毎月一回程度、配信しています。

令和 2 年 2 月配信停止  
ごみ分別アプリへ移行

## ごみ分別アプリダウンロード数

年 度	ダウンロード数
令和元年度	6,846

(1) 資源循環の推進

○ ごみの適正分別と収集

大型家具等ごみ出し支援事業

【大型家具等ごみ出し支援】

年 度	引き取り実施世帯数	引き取り家具等数
平成 30 年度	224 世帯	583 個
令和元年度	533 世帯	1,239 個

ごみ分別排出マナー啓発事業開催実績

【ごみダイエット塾】

年 度	ごみダイエット塾（回）
平成 20 年度	11 (73)
平成 21 年度	3 (27)
平成 22 年度	3 (13)
平成 23 年度	1 (11)
平成 24 年度	3
平成 25 年度	14
平成 26 年度	12
平成 27 年度	12
平成 28 年度	20
平成 29 年度	14
平成 30 年度	22
令和元年度	14

( ) 内は、ごみナビゲーション

【小学校環境学習】

年 度	学校数（校）	参加児童数（人）
平成 22 年度	24	1,512
平成 23 年度	24	1,302
平成 24 年度	25	1,414
平成 25 年度	30	1,775
平成 26 年度	39	2,096
平成 27 年度	0	0
平成 28 年度	0	0
平成 29 年度	33	1,750
平成 30 年度	33	1,846
令和元年度	38	1,899

## 【リサイクルセンター施設見学者数】

年 度	団体数	参加人数
平成 28 年度	61	1,945
平成 29 年度	59	1,788
平成 30 年度	47	1,746
令和元年度	44	1,724

## 【夏休み子どもごみ教室】

年 度	団体数	場所
平成 23 年度	14 組 37 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 24 年度	15 組 32 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 25 年度	11 組 24 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 26 年度	13 組 30 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 27 年度	14 組 28 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 28 年度	14 組 30 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター
平成 29 年度	18 組 39 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター
平成 30 年度	17 組 41 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター
令和元年度	18 組 42 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター

## 【津市ごみ一時集積所設置等事業補助金交付実績】

年 度	件数（件）	金額（円）
平成 20 年度	31	2,319,000
平成 21 年度	31	2,479,000
平成 22 年度	45	3,038,000
平成 23 年度	50	4,351,000
平成 24 年度	53	3,731,000
平成 25 年度	77	5,997,000
平成 26 年度	61	3,300,000
平成 27 年度	68	2,854,000
平成 28 年度	121	5,298,000
平成 29 年度	122	5,375,000
平成 30 年度	165	5,227,000
令和元年度	138	4,838,000

(1) 資源循環の推進

○ 不法投棄の防止

不法投棄対応実績

年 度	不法投棄 対応件数	警告看板 設置件数	消火器処理実績		タイヤ処理実績	
			本数	処理経費	本数	処理経費
平成 21 年度	330	359				
平成 22 年度	248	254	62	65,345		
平成 23 年度	234	309	27	28,597		
平成 24 年度	268	329	29	31,197		
平成 25 年度	190	271	47	49,350		
平成 26 年度	201	285	31	33,480		
平成 27 年度	174	193	28	30,240		
平成 28 年度	164	162	28	33,480	296	110,538
平成 29 年度	125	247	21	22,680	340	171,450
平成 30 年度	95	279	28	30,240	181	91,044
令和元年度	96	211	45	49,500	264	148,083

不法投棄家電のリサイクル処理実績

年 度	処理台 数	内 訳				処理経費 (円)
		テレビ	冷蔵庫	洗濯機	エアコン	
平成 20 年度	568	301	148	103	16	1,800,340
平成 21 年度	799	442	268	82	7	2,701,269
平成 22 年度	446	321	93	25	7	1,370,590
平成 23 年度	470	353	91	20	6	1,427,839
平成 24 年度	434	322	86	24	2	1,281,699
平成 25 年度	397	280	86	27	4	1,230,782
平成 26 年度	256	176	60	18	2	823,128
平成 27 年度	341	204	81	40	16	1,045,294
平成 28 年度	353	267	56	24	6	1,053,692
平成 29 年度	245	162	56	21	6	661,364
平成 30 年度	279	150	82	40	7	824,805
令和元年度	367	160	100	102	5	1,142,909

## ○ 廃棄物の適正処理（一般廃棄物処理施設の処理実績）

## 津市西部クリーンセンター（焼却施設）

（処理能力1日240t、120t／炉×2炉）

年 度	処理対象地域	区 分	搬入量 (t)	維持管理費 (千円)	1t当たりの 処理経費(円)
平成19年度	津・芸濃	家庭系ごみ	33,655	816,966	15,627
		事業系ごみ	23,061		
平成20年度	津・芸濃	家庭系ごみ	33,067	867,989	16,443
		事業系ごみ	23,229		
平成21年度	津・芸濃	家庭系ごみ	31,950	878,993	17,292
		事業系ごみ	22,186		
平成22年度	津・芸濃	家庭系ごみ	31,274	874,641	17,744
		事業系ごみ	21,227		
平成23年度	津・芸濃	家庭系ごみ	31,120	816,596	16,573
		事業系ごみ	21,431		
平成24年度	津、芸濃	家庭系ごみ	30,905	855,946	15,784
		事業系ごみ	23,324		
平成25年度	津、芸濃 河芸	家庭系ごみ	29,892	1,003,867	17,808
		事業系ごみ	26,480		
平成26年度	津、芸濃 河芸	家庭系ごみ	30,092	1,015,328	17,828
		事業系ごみ	26,860		
平成27年度	津、芸濃 河芸	家庭系ごみ	30,160	986,788	18,421
		事業系ごみ	23,409		
平成28年度	津、芸濃 河芸	家庭系ごみ	28,340	994,227	19,119
		事業系ごみ	23,662		
平成29年度	津、芸濃 河芸	家庭系ごみ	28,565	892,580	17,353
		事業系ごみ	22,872		
平成30年度	津、芸濃 河芸	家庭系ごみ	28,414	839,465	16,557
		事業系ごみ	22,289		
令和元年度	津、芸濃 河芸	家庭系ごみ	29,066	907,417	17,885
		事業系ごみ	21,669		

## (1) 資源循環の推進

## 津市クリーンセンターおおたか（焼却施設）

(処理能力 1 日 195 t、97.5 t / 炉 × 2 炉)

年 度	処理対象地 域	区 分	搬入量 (t)	維持管理 費 (千 円)	1 t 当たりの 処理経費(円)
平成 19 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉	家庭系ごみ	17,271	408,382	16,086
		事業系ごみ	7,867		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,342		
		事業系ごみ	2,423		
平成 20 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉	家庭系ごみ	16,996	462,256	17,778
		事業系ごみ	8,260		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,444		
		事業系ごみ	2,280		
平成 21 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉	家庭系ごみ	16,581	593,386	20,927
		事業系ごみ	7,934		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,434		
		事業系ごみ	2,160		
平成 22 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉	家庭系ごみ	16,404	517,171	18,457
		事業系ごみ	7,599		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,361		
		事業系ごみ	1,994		
平成 23 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉	家庭系ごみ	16,749	499,335	17,177
		事業系ごみ	7,983		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,255		
		事業系ごみ	2,236		
平成 24 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉	家庭系ごみ	17,075	520,373	15,292
		事業系ごみ	7,922		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,401		
		事業系ごみ	2,631		
平成 25 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	21,291	598,555	15,731
		事業系ごみ	7,768		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,511		
		事業系ごみ	2,480		
平成 26 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	22,429	577,775	14,371
		事業系ごみ	8,573		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,638		
		事業系ごみ	2,564		
平成 27 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一 志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,447	495,992	14,499
		事業系ごみ	8,762		

平成 28 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,527	495,520	14,661
		事業系ごみ	8,272		
平成 29 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,325	523,906	15,928
		事業系ごみ	7,568		
平成 30 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,658	553,667	16,912
		事業系ごみ	7,081		
令和元年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	26,079	525,264	15,550
		事業系ごみ	7,700		

### 津市死亡獣等焼却処理場（焼却施設）

道路等で死亡した動物の死骸の焼却処理状況

年 度	処理対象地域	区 分	頭 数	処理経費 (千円)
平成 26 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	205	9,992
		30 kg以上（大型）	27	
平成 27 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,176	9,604
		30 kg以上（大型）	130	
平成 28 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,325	10,902
		30 kg以上（大型）	116	
平成 29 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,303	11,293
		30 kg以上（大型）	118	
平成 30 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,299	11,648
		30 kg以上（大型）	122	
令和元年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,576	11,297
		30 kg以上（大型）	132	

### 津市リサイクルセンター（破碎・選別施設）

（処理能力 1 日 89 t）

年 度	処理対象地域	搬入量 (t)	処理経費 (千円)	1 t 当たりの 処理経費(円)
平成 28 年度	市内全域	12,806	380,756	29,732
平成 29 年度	市内全域	12,928	342,733	26,511
平成 30 年度	市内全域	13,674	380,757	27,845
令和元年度	市内全域	13,915	376,302	27,042



(1) 資源循環の推進

津市一般廃棄物最終処分場（最終処分場）

（処理能力9万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>）

年 度	処理対象地域	搬入量 (t)	処理経費 (千円)	1 t 当たりの処理経費 (円)
平成 28 年度	市内全域	1,426	182,275	127,822
平成 29 年度	市内全域	1,384	116,092	83,882
平成 30 年度	市内全域	1,365	128,593	94,207
令和元年度	市内全域	1,358	172,370	126,929

白銀環境清掃センター（破碎・選別・埋立施設）※平成28年3月31日閉鎖

不燃ごみ、資源ごみをリサイクル処理、埋立処分を実施。

年 度	処理対象地域	区 分	搬入量 (t)	処理経費 (千円)	1 t 当たりの処理経費 (円)
平成 19 年度	市内全域	一般廃棄物	26,791	549,881	7,947
		その他	42,402		
平成 20 年度	市内全域	一般廃棄物	17,685	493,371	27,898
平成 21 年度	市内全域	一般廃棄物	16,995	442,503	26,037
平成 22 年度	市内全域	一般廃棄物	17,353	543,359	31,310
平成 23 年度	市内全域	一般廃棄物	15,707	536,079	34,130
平成 24 年度	市内全域	一般廃棄物	16,083	482,423	29,996
平成 25 年度	市内全域	一般廃棄物	17,024	531,851	31,241
平成 26 年度	市内全域	一般廃棄物	15,733	479,879	30,502
平成 27 年度	市内全域	一般廃棄物	14,986	417,882	27,884

## 津市安芸・津衛生センター（し尿処理施設）

処理実績（処理能力 188kl/日）

年 度	処理対象地域	区 分	搬入量 (kl)	処理経費 (千円)	1 kl 当たりの 処理経費(円)
平成 19 年度	津、河芸、芸濃美里、安濃	し尿	17,495	289,066	4,866
		浄化槽汚泥	41,916		
平成 20 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	18,067	316,497	5,256
		浄化槽汚泥	42,147		
平成 21 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	20,469	295,265	5,012
		浄化槽汚泥	38,441		
平成 22 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	24,839	376,116	5,929
		浄化槽汚泥	38,600		
平成 23 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	12,790	286,692	4,572
		浄化槽汚泥	49,920		
平成 24 年度	津、河芸、芸濃美里、安濃	し尿	10,409	335,555	5,063
		浄化槽汚泥	55,866		
平成 25 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	9,820	330,765	4,984
		浄化槽汚泥	56,540		
平成 26 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	9,292	320,957	4,789
		浄化槽汚泥	57,728		
平成 27 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	8,896	356,599	5,125
		浄化槽汚泥	60,677		
平成 28 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	8,677	285,966	4,117
		浄化槽汚泥	60,784		
平成 29 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	8,815	335,240	4,739
		浄化槽汚泥	61,923		
平成 30 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	8,232	316,597	4,212
		浄化槽汚泥	66,937		
令和元年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	7,696	281,610	4,102
		浄化槽汚泥	60,950		

## (1) 資源循環の推進

## 津市クリーンセンターくもず（し尿処理施設）処理実績

処理実績（処理能力 140kl/日）

年度	処理対象地域	区分	搬入量 (kl)	処理経費 (千円)	1 kl 当たり の処理経費 (円)
平成 19 年度	久居、香良洲、一志、 白山、美杉	し尿	10,011	421,342	12,654
		浄化槽汚泥	17,856		
	松阪市（嬉野）	し尿	2,684		
		浄化槽汚泥	2,745		
平成 20 年度	久居、香良洲、一志、 白山、美杉	し尿	9,240	331,248	9,997
		浄化槽汚泥	19,681		
	松阪市（嬉野）	し尿	2,285		
		浄化槽汚泥	1,930		
平成 21 年度	久居、香良洲、一志、 白山、美杉	し尿	8,073	299,209	10,071
		浄化槽汚泥	18,125		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,916		
		浄化槽汚泥	1,596		
平成 22 年度	久居、香良洲、一志、 白山、美杉	し尿	7,627	292,864	10,071
		浄化槽汚泥	18,106		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,676		
		浄化槽汚泥	1,672		
平成 23 年度	久居、香良洲、一志、 白山、美杉	し尿	7,628	265,819	9,453
		浄化槽汚泥	17,568		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,507		
		浄化槽汚泥	1,418		
平成 24 年度	津、久居、美里、香良 洲、一志、白山、美杉	し尿	6,928	391,732	13,948
		浄化槽汚泥	18,235		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,274		
		浄化槽汚泥	1,648		
平成 25 年度	津、久居、美里、香良 洲、一志、白山、美杉	し尿	6,749	273,407	9,881
		浄化槽汚泥	18,359		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,143		
		浄化槽汚泥	1,418		
平成 26 年度	津、久居、美里、香良 洲、一志、白山、美杉	し尿	6,380	265,405	9,534
		浄化槽汚泥	19,061		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,043		
		浄化槽汚泥	1,355		
平成 27 年度	津、久居、美里、香良 洲、一志、白山、美杉	し尿	6,138	295,510	10,518
		浄化槽汚泥	21,955		

平成 28 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	5,598	305,922	11,448
		浄化槽汚泥	21,125		
平成 29 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	5,437	437,730	15,724
		浄化槽汚泥	22,401		
平成 30 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	5,162	270,697	9,502
		浄化槽汚泥	23,325		
令和元年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	4,983	244,426	8,740
		浄化槽汚泥	22,982		

## 一般廃棄物最終処分量の実績

年 度	一般廃棄物最終処分量 (t)
平成 19 年度	15,883
平成 20 年度	10,730
平成 21 年度	10,325
平成 22 年度	11,274
平成 23 年度	9,504
平成 24 年度	9,514
平成 25 年度	11,589
平成 26 年度	10,168
平成 27 年度	7,410
平成 28 年度	1,426
平成 29 年度	1,384
平成 30 年度	1,365
令和元年度	1,358

## (2) 新エネルギーの適正な普及

## (2) 新エネルギーの適正な普及

## ○ 新エネルギーの利用促進

## 太陽光発電システム等補助金の交付実績

年 度		太陽光発電システム
平成 19 年 度	件数	106
	金額	12,720,000
平成 20 年 度	件数	100
	金額	12,000,000
平成 21 年 度	件数	287
	金額	17,220,000
平成 22 年 度	件数	556
	金額	33,360,000

年 度		太陽光発電システム				エネファーム	合 計
		個人住宅	共同住宅	事業所	集会所	個人住宅	
平成 23 年 度	件数	891	26	5	0		922
	金額	55,050,000	2,520,000	310,000	0		57,880,000
平成 24 年 度	件数	214	21	8	1		244
	金額	21,400,000	2,060,000	520,000	420,000		24,400,000
平成 25 年 度	件数	219	4	2	2		227
	金額	21,900,000	320,000	200,000	1,400,000		23,820,000
平成 26 年 度	件数	203	3	0	0		206
	金額	20,300,000	260,000	0	0		20,560,000
平成 27 年 度	件数	170	1	4	0		175
	金額	17,000,000	100,000	360,000	0		17,460,000
平成 28 年 度	件数	146	0	3	0		149
	金額	14,600,000	0	300,000	0		14,900,000
平成 29 年 度	件数	150	0	3※	0		153
	金額	15,000,000	0	150,000※	0		15,150,000
平成 30 年 度	件数	125	0	0	0	133	246
	金額	7,500,000	0	0	0	7,980,000	15,480,000
令和元年度	件数	88	0	0	0	161	249
	金額	5,280,000	0	0	0	9,660,000	14,940,000

※ 小型風力発電システム 2 件 120,000 円を含む

## 新エネルギー学習会の開催実績

年 度	学 習 内 容	参加者数
平成 19 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・榊原風力発電施設見学	37
平成 20 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・榊原風力発電施設見学	41
平成 21 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・榊原風力発電施設見学	43
平成 22 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・榊原風力発電施設見学	32
平成 23 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験	21
平成 24 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験	22
平成 25 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 スマートキャンパス実証事業施設見学	27
平成 26 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 メガソーラー発電施設見学	20
平成 27 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 メガソーラー発電施設見学	32
平成 28 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・リサイクルセンター見学・ 環境学習センターにて温暖化対策ワークショップ	24
平成 29 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 新青山高原風力発電所（風のめぐみの館見学）	24
平成 30 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 いちご津 ECO 発電所見学・環境学習センターで AWF 説明会	29
令和元年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 新青山高原風力発電所（風のめぐみの館見学）	26

(2) 新エネルギーの適正な普及

新エネルギー利用設備等導入実績

年 度	新エネルギー設備の導入量	
	風力発電	太陽光発電
平成 19 年度	25,000kW	3,892kW
平成 20 年度	25,000kW	4,685kW
平成 21 年度	33,000kW	5,595kW
平成 22 年度	47,000kW	8,800kW
平成 23 年度	47,000kW	13,400kW
平成 24 年度	47,000kW	19,400kW
平成 25 年度	47,000kW	53,500kW
平成 26 年度	47,000kW	77,400kW
平成 27 年度	47,000kW	167,500kW
平成 28 年度	63,000kW	196,800kW
平成 29 年度	63,000kW	227,800kW
平成 30 年度	63,000kW	293,336kW
令和元年度	63,020kW	304,858kW

公共施設等への新エネルギー導入実績

年 度	種 別	太陽光発電	小型風力発電
平成 19 年度	設置	—	—
平成 20 年度	設置	1	—
平成 21 年度	設置	0	—
平成 22 年度	設置	4	—
平成 23 年度	設置	2	—
平成 24 年度	設置	2	—
平成 25 年度	設置	4	—
平成 26 年度	設置	2	—
平成 27 年度	設置	6	1
平成 28 年度	設置	0	—
平成 29 年度	設置	3	—
平成 30 年度	設置	1	—
令和元年度	設置	3	—

## バイオディーゼルフューエル（BDF）使用実績

年 度	BDF 燃料（使用量）
平成 21 年度	3,600 ℓ
平成 22 年度	3,200 ℓ
平成 23 年度	12,400 ℓ
平成 24 年度	26,900 ℓ
平成 25 年度	20,500 ℓ
平成 26 年度	21,100 ℓ
平成 27 年度	21,800 ℓ
平成 28 年度	19,000 ℓ
平成 29 年度	16,600 ℓ
平成 30 年度	16,400 ℓ
令和元年度	13,400 ℓ

※環境事業課のごみ収集車（7台）に給食用廃油を活用したバイオディーゼルフューエルを使用  
（平成 31 年 2 月以降、ごみ収集車 6 台）

## バイオマス発電施設の整備実績

発電開始	平成 28 年 7 月
発電出力	約 20,000 kW
世帯換算	約 4 万 5 千世帯分



## ○ 温室効果ガスの削減対策の推進

## 【エコエコ家族認定状況】

年 度	エコエコ家 族の認定件 数（世帯）	累計 （世帯）
平成 19 年度	90	184
平成 20 年度	51	235
平成 21 年度	74	309
平成 22 年度	189	498
平成 23 年度	73	571
平成 24 年度	85	656
平成 25 年度	3	659
平成 26 年度	8	667
平成 27 年度	10	677
平成 28 年度	9	686
平成 29 年度	0	686
平成 30 年度	2	688
令和元年度	0	0

## 【小学校での環境学習講座実施状況】

年 度	件数（校 数）	人 数 （人）
平成 19 年度	19	1,042
平成 20 年度	11	532
平成 21 年度	12	550
平成 22 年度	12	605
平成 23 年度	7	219
平成 24 年度	4	223
平成 25 年度	7	296
平成 26 年度	5	444
平成 27 年度	0	0
平成 28 年度	2	146
平成 29 年度	1	30
平成 30 年度	1	52
令和元年度	0	0

## 【夏休み子どもエコチャレンジ参加状況】

年 度	学校数	人数（人）
平成 25 年度	41 校	1,569
平成 26 年度	44 校	1,835
平成 27 年度	44 校	2,431
平成 28 年度	40 校	1,584
平成 29 年度	48 校	1,892
平成 30 年度	46 校	1,923
令和元年度	42 校	2,055

## 【クールアースデー（一斉消灯）】

津市本庁舎での取組実績（クールアースデー、夏至・冬至のライトダウンを実施）

年 度	回数	実 施 日
平成 20 年度	1	7 月 7 日
平成 21 年度	1	7 月 7 日
平成 22 年度	2	7 月 7 日、12 月 21 日
平成 23 年度	5	6 月 22 日、7 月 7 日、27 日、8 月 24 日、12 月 22 日
平成 24 年度	4	6 月 21 日、7 月 6 日、7 日、12 月 21 日
平成 25 年度	5	6 月 21 日、7 月 7 日、8 日、12 月 20 日、22 日
平成 26 年度	4	6 月 20 日、21 日、7 月 7 日、12 月 22 日
平成 27 年度	3	6 月 22 日、7 月 7 日、12 月 22 日
平成 28 年度	3	6 月 21 日、7 月 7 日、12 月 21 日
平成 29 年度	3	6 月 21 日、7 月 7 日、12 月 22 日
平成 30 年度	3	6 月 21 日、7 月 7 日、12 月 22 日
令和元年度	5	6 月 22 日、7 月 7 日、17 日、8 月 21 日、12 月 22 日

## 【地球温暖化対策講座】

家庭でできる温暖化対策講座の開催状況

年 度	開催回数	受講者数
平成 19 年度	10	547
平成 20 年度	3	253
平成 21 年度	7	296
平成 22 年度	18	999
平成 23 年度	7	384
平成 24 年度	3	179
平成 25 年度	5	86
平成 26 年度	9	536
平成 27 年度	5	103
平成 28 年度	6	88
平成 29 年度	5	88
平成 30 年度	5	102
令和元年度	6	105

(2) 新エネルギーの適正な普及

○ 省エネルギー対策の推進

環境マネジメントシステム推進事業

内部環境監査員の養成状況

年 度	内部環境監査員の養成 (人)
平成 20 年度	10
平成 21 年度	9
平成 22 年度	17
平成 23 年度	22
平成 24 年度	0
平成 25 年度	22
平成 26 年度	18
平成 27 年度	24
平成 28 年度	21
平成 29 年度	21
平成 30 年度	18
令和元年度	23

### 3 《環境目標3》「快適で暮らしやすい生活環境」の取組実績

#### (1) 衛生的な生活環境の保全

##### ○ 空き地・空き家等の適正管理

管理が不適切な空き地等の所有者への指導実績

年 度	件 数
平成 19 年度	207
平成 20 年度	274
平成 21 年度	233
平成 22 年度	273
平成 23 年度	278
平成 24 年度	324
平成 25 年度	333
平成 26 年度	409
平成 27 年度	513
平成 28 年度	869
平成 29 年度	778
平成 30 年度	592
令和元年度	645

##### ○ 愛護動物の適正飼養

##### 狂犬病予防対策業務実施事業

狂犬病予防法等に基づく、犬登録鑑札、狂犬病予防注射済票の交付等実績

	犬登録鑑 札交付件数	狂犬病予防注射 済票交付件数	犬鑑札 再交付件数	狂犬病予防注射 済票再交付件数
平成 19 年度	1,899	15,368	39	2
平成 20 年度	1,547	15,046	27	0
平成 21 年度	1,586	15,125	29	2
平成 22 年度	1,566	15,075	30	0
平成 23 年度	1,366	14,726	28	1
平成 24 年度	1,234	14,472	33	2
平成 25 年度	1,305	14,205	35	2
平成 26 年度	1,246	13,610	38	5
平成 27 年度	1,248	13,431	32	3
平成 28 年度	1,215	13,102	30	1
平成 29 年度	1,291	13,042	48	4
平成 30 年度	1,331	12,753	35	6
令和元年度	1,338	12,642	34	4

(1) 衛生的な生活環境の保全

○ 公害の防止

大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、  
振動、地盤沈下、悪臭等の苦情に係る指導実績

年 度	件 数
平成 19 年度	231
平成 20 年度	203
平成 21 年度	208
平成 22 年度	166
平成 23 年度	163
平成 24 年度	147
平成 25 年度	120
平成 26 年度	106
平成 27 年度	94
平成 28 年度	108
平成 29 年度	93
平成 30 年度	98
令和元年度	98

大気環境調査の実施状況

年 度	調査箇所	調査回数
平成 19 年度	24	12
平成 20 年度	24	12
平成 21 年度	24	12
平成 22 年度	24	12
平成 23 年度	24	12
平成 24 年度	24	12
平成 25 年度	24	12
平成 26 年度	24	12
平成 27 年度	24	12
平成 28 年度	24	12
平成 29 年度	24	12
平成 30 年度	24	12
令和元年度	24	12

## 降下ばいじん量の経年変化(平成27年度～令和元年度)

(単位:t/km<sup>2</sup>/月)

測定場所	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値
津市役所	2.8	1.8	2.9	2.7	2.3
中消防署	2.2	1.0	2.6	2.3	1.7
雲出小学校	2.2	1.5	2.6	2.1	2.1
育生小学校	3.1	1.3	2.5	1.8	2.1
こころの医療センター	1.9	1.1	2.1	2.3	1.9
新町小学校	2.4	1.1	2.5	2.0	1.8
津東高等学校	1.8	0.9	1.9	2.6	2.0
高野尾小学校	2.8	1.9	2.7	2.3	1.8
白塚小学校	1.7	1.1	2.0	2.2	1.5
三重短期大学	2.2	1.5	2.9	2.7	2.4
長谷山市民館	2.1	1.0	2.4	2.4	2.0
片田浄水場	1.7	0.9	1.9	2.2	1.9
泉ヶ丘団地	4.5	2.3	3.3	2.5	2.1
栗葉小学校	3.3	2.0	2.9	2.0	2.8
成美小学校	2.1	1.4	2.5	2.1	2.7
桃園小学校	2.3	1.8	2.8	2.5	2.0
上野小学校	2.3	1.2	2.2	2.5	2.1
芸濃総合支所	2.8	1.4	2.2	2.0	1.9
美里総合支所	2.5	0.8	1.9	2.3	1.7
安濃総合支所	2.3	1.0	2.3	1.8	2.2
香良洲総合支所	1.6	1.0	1.9	2.0	2.4
一志総合支所	1.6	0.9	1.7	1.7	2.2
白山保健福祉センター	1.6	1.5	2.1	2.1	2.4
美杉総合支所	1.3	1.1	2.0	2.2	1.9
平均値	2.3	1.3	2.4	2.2	2.1

## (1) 衛生的な生活環境の保全

## 二酸化窒素の経年変化(平成27年度～令和元年度)

(単位:  $\mu\text{g}\cdot\text{NO}_2/100\text{cm}^2/\text{day}$ )

測定場所	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値
津市役所	22	25	21	18	16
中消防署	21	22	22	17	13
雲出小学校	19	18	16	17	14
育生小学校	23	20	18	20	18
こころの医療センター	15	15	13	14	11
新町小学校	15	13	13	14	12
津東高等学校	13	12	11	11	10
高野尾小学校	18	17	16	16	13
白塚小学校	21	20	19	18	16
三重短期大学	22	21	21	23	20
長谷山市民館	7.8	7.2	6.8	6.9	5.5
片田浄水場	8.9	8.4	8.1	8.0	8.1
泉ヶ丘団地	14	13	12	11	9.2
栗葉小学校	8.5	8.1	6.9	7.0	5.9
成美小学校	18	17	15	15	13
桃園小学校	12	11	11	11	10
上野小学校	19	17	17	17	15
芸濃総合支所	16	16	15	15	12
美里総合支所	7.3	6.9	5.7	6.0	5.0
安濃総合支所	8.9	8.6	8.0	7.6	6.4
香良洲総合支所	16	15	14	13	11
一志総合支所	13	11	10	9.6	7.8
白山保健福祉センター	10	10	8.6	8.7	7.4
美杉総合支所	6.5	5.1	4.6	5.3	4.6

## 水質環境調査の実施状況

## 河川及び海域における水質環境調査 実施状況

場所	河川		海域	
	調査箇所数	調査回数	調査箇所数	調査回数
平成 19 年度	22	12	8	4
平成 20 年度	22	12	8	4
平成 21 年度	22	12	8	4
平成 22 年度	22	12	8	4
平成 23 年度	22	12	8	4
平成 24 年度	22	12	8	4
平成 25 年度	22	12	8	4
平成 26 年度	22	12	8	4
平成 27 年度	22	12	8	4
平成 28 年度	22	12	8	4
平成 29 年度	22	12	8	4
平成 30 年度	22	12	8	4
令和元年度	22	12	8	4

## 河川(BOD)測定データ (平成 27 年度～令和元年度)

(単位 : mg/L)

河川名	採水場所	類型	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	環境基準	
			年度	年度	年度	年度	年度		
			BOD	BOD	BOD	BOD	BOD		
			75%値	75%値	75%値	75%値	75%値		
中ノ川	中ノ川橋	B	1.0	1.1	1.9	1.2	1.4	3	
田中川	新三行橋	-	1.1	1.1	1.6	1.4	1.3	-	
田中川	夕見橋	-	2.1	2.2	3.5	2.2	1.9	-	
美濃屋川	美濃屋橋	-	3.5	5.5	4.9	4.2	5.9	-	
安濃川	安濃橋	A	0.7	1.2	1.4	0.7	1.2	2	
穴倉川	神社橋	-	1.1	1.4	1.8	1.0	1.4	-	
岩田川	五五六橋	B	1.6	2.3	2.3	2.2	3.2	3	
相川	新相川橋	-	1.3	1.4	1.6	1.4	1.6	-	
天神川	東天神橋	-	1.4	2.0	2.5	2.1	2.1	-	
長野川	一峯橋	A	1.0	0.9	1.5	0.7	1.0	1	
榊原川	中村橋	-	0.9	1.3	1.8	0.9	1.1	-	
蛇川	西浦橋	-	8.3	4.8	5.2	7.4	6.3	-	
垣内川	算所橋	-	0.9	0.8	1.6	0.6	0.7	-	
山田野川	八幡橋	-	0.7	1.1	1.5	0.8	1.0	-	
大村川	沖広橋	-	0.8	1.0	1.6	0.7	1.0	-	
三ヶ野川	青野橋	-	1.3	1.6	2.6	4.1	5.2	-	
弁天川	坂本橋	-	1.6	1.5	1.9	1.5	2.3	-	



## (1) 衛生的な生活環境の保全

波瀬川	八太橋	-	1.0	1.9	2.0	1.1	1.3	-
雲出川	須渚橋	AA	0.7	0.7	0.8	0.7	0.9	1
雲出川	赤岩橋	A	0.9	1.2	1.1	0.9	0.9	2
名張川	美杉御杖 大橋	A	0.8	0.7	1.3	0.6	0.9	2
名張川	飯垣内橋	A	0.7	0.9	1.3	0.8	1.1	2

## 河川(大腸菌群数) 測定データ (平成 27 年度～令和元年度) (単位: MPN/100mL)

河川名	採水場所	類型	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	環境基準
中ノ川	中ノ川橋	B	7.9E+02	6.5E+02	2.3E+03	1.7E+03	2.9E+03	5,000
田中川	新三行橋	-	1.6E+03	8.9E+02	4.7E+02	6.3E+03	1.9E+04	-
田中川	汐見橋	-	2.0E+04	1.9E+04	2.4E+03	5.4E+04	2.5E+04	-
美濃屋川	美濃屋橋	-	3.8E+04	3.1E+04	6.1E+03	2.9E+04	2.6E+04	-
安濃川	安濃橋	A	4.2E+02	3.7E+02	6.1E+02	1.6E+03	2.1E+03	1,000
穴倉川	神社橋	-	2.4E+03	2.6E+03	3.4E+03	8.3E+03	2.8E+04	-
岩田川	五五六橋	B	4.3E+03	1.1E+04	4.6E+03	2.4E+04	2.4E+04	5,000
相川	新相川橋	-	3.6E+03	3.8E+03	2.7E+03	1.8E+04	1.1E+04	-
天神川	東天神橋	-	1.2E+04	1.6E+04	1.5E+03	2.8E+04	6.0E+04	-
長野川	一峯橋	A	1.3E+03	8.9E+02	1.8E+02	3.0E+03	7.7E+03	1,000
榊原川	中村橋	-	1.8E+03	6.1E+03	4.6E+02	1.2E+04	5.9E+03	-
蛇川	西浦橋	-	1.8E+05	1.5E+06	1.1E+04	8.0E+05	2.9E+06	-
垣内川	算所橋	-	5.1E+03	5.6E+03	2.1E+03	2.0E+04	4.9E+03	-
山田野川	八幡橋	-	3.8E+03	4.9E+03	1.3E+03	6.1E+03	3.8E+04	-
大村川	沖広橋	-	2.1E+03	2.9E+03	7.8E+02	8.9E+03	7.0E+03	-
三ヶ野川	青野橋	-	1.9E+03	2.0E+03	3.8E+02	4.8E+03	1.3E+04	-
弁天川	坂本橋	-	3.2E+03	4.7E+03	1.5E+03	2.1E+04	7.7E+03	-
波瀬川	八太橋	-	1.1E+03	1.9E+03	4.5E+02	4.0E+03	3.5E+03	-
雲出川	須渚橋	AA	3.6E+02	3.7E+02	1.9E+02	4.5E+02	8.0E+02	50
雲出川	赤岩橋	A	3.7E+03	1.8E+03	2.4E+02	2.4E+03	4.4E+03	1,000
名張川	美杉御杖 大橋	A	2.6E+02	2.4E+02	1.7E+02	1.1E+03	6.4E+02	1,000
名張川	飯垣内橋	A	2.8E+02	3.1E+02	1.5E+02	7.1E+02	1.2E+03	1,000

## 海域(COD) 測定データ (平成 27 年度～令和元年度)

(単位 : mg/L)

採水場所	類型	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	環境基準
		COD 75%値	COD 75%値	COD 75%値	COD 75%値	COD 75%値	
マリーナ河芸前千里海岸	B	2.9	3.6	2.2	2.7	4.1	3
白塚海岸	B	3.4	3.1	2.0	2.7	3.5	
安濃川河口	B	3.5	3.3	2.8	2.8	3.3	
岩田川河口	B	3.9	2.9	3.0	3.2	3.5	
御殿場海岸	B	4.3	3.3	3.4	2.7	3.0	
JMU 造船ドック先	B	3.7	2.8	2.8	2.8	2.9	
雲出川北側河口	B	4.2	2.9	2.5	2.5	2.9	
雲出川南側河口	B	3.7	2.9	3.1	2.4	3.0	

## 海 域(全窒素及び全磷) 測定データ (平成 27 年度～令和元年度)

(単位 : mg/L)

採水場所	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		環境基準
	全窒素	全磷	全窒素	全磷	全窒素	全磷	全窒素	全磷	全窒素	全磷	
マリーナ河芸前千里海岸	0.28	0.046	0.23	0.051	0.20	0.029	0.22	0.037	0.35	0.036	全窒素 0.3  全磷 0.03
白塚海岸	0.20	0.055	0.15	0.049	0.17	0.022	0.23	0.048	0.29	0.062	
安濃川河口	0.35	0.076	0.12	0.065	0.25	0.030	0.28	0.064	0.24	0.062	
岩田川河口	0.20	0.057	0.14	0.075	0.17	0.019	0.11	0.051	0.30	0.054	
御殿場海岸	0.25	0.047	0.15	0.063	0.20	0.018	0.18	0.054	0.24	0.057	
JMU 造船ドック先	0.24	0.068	0.14	0.059	0.21	0.023	0.23	0.037	0.28	0.042	
雲出川北側河口	0.21	0.039	0.12	0.064	0.19	0.020	0.13	0.066	0.23	0.048	
雲出川南側河口	0.17	0.055	0.12	0.057	0.17	0.013	0.13	0.049	0.22	0.051	

## (1) 衛生的な生活環境の保全

## ダイオキシン類測定の実施状況

## ダイオキシン類の調査測定実施状況

	大気		水質		土壌	
	調査箇所数	調査回数	調査箇所数	調査回数	調査箇所数	調査回数
平成 19 年度	11	1~2	7	2	2	1
平成 20 年度	11	1~2	8	1~2	2	1
平成 21 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 22 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 23 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 24 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 25 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 26 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 27 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 28 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 29 年度	11	1~2	8	2	2	1
平成 30 年度	11	1~2	8	2	2	1
令和元年度	11	1~2	8	1~2	2	1

ダイオキシン類(大気環境)測定データ (平成 27 年度~令和元年度) (単位:pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

測定場所	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	令和元年 度	環境基準
	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値	
長谷山市民館	0.011	0.0081	0.0094	0.0086	0.0053	0.6 以下
榊原上教育集会所	0.016	0.0097	0.0066	0.0044	0.0036	
上野小学校	0.011	0.0042	0.0074	0.0084	0.0053	
安芸・津衛生センター (安濃町妙法寺地内)	0.011	0.0063	0.0092	0.0075	0.0053	
第 4 加圧ポンプ場 (安濃町今徳地内)	0.011	0.0084	0.0056	0.0059	0.0051	
香良洲総合支所	0.0098	0.0074	0.0086	0.0057	0.0075	
白山保健福祉センター	0.010	0.0063	0.0079	0.0082	0.0046	
一志総合支所	0.017	0.0088	0.0062	0.0060	0.0058	
芸濃総合支所	0.012	0.0063	0.010	0.0051	0.0054	
美里総合支所	0.0060	0.0076	0.011	0.0050	0.0037	
美杉総合支所	0.0068	0.0051	0.0043	0.0044	0.0032	
年平均値	0.011	0.0071	0.0078	0.0063	0.0050	

## ダイオキシン類(水質環境)測定データ (平成 27 年度～令和元年度) (単位:pg-TEQ/L)

測定地点	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	環境基準
	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値	
殿村用水 (分部と安濃町の境界地点)	0.54	0.47	0.39	0.091	0.20	1 以下
御供田池	0.27	0.26	0.19	0.68	0.28	
蛇川 (西浦橋)	0.16	0.25	0.67	0.070	0.11	
榊原川 (別所橋)	0.046	0.040	0.064	0.032	0.064	
谷杉川 (朝日橋)	0.23	0.28	0.53	0.049	0.15	
中ノ川 (中ノ川橋)	0.12	0.54	0.41	0.063	0.12	
田中川 (新三行橋)	0.38	0.51	0.62	0.66	0.18	
田中川 (汐見橋)	0.73	1.2	1.1	0.74	0.83	
年平均値	0.31	0.45	0.50	0.30	0.24	

## ダイオキシン類(土壌環境)測定データ (平成 27 年度～令和元年度) (単位:pg-TEQ/g)

測定地点	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	環境基準
	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値	
榊原上教育集会所	0.24	0.24	0.29	0.12	0.21	1,000 以下
ピュアタウン団地内公園	3.2	3.2	2.1	3.7	4.8	
年平均値	1.7	1.7	1.2	1.9	2.5	

(1) 衛生的な生活環境の保全

工場排水水質分析・農薬等分析の実施状況

ゴルフ場等の調整池・放流水中の農薬等の分析 実施状況

	工場排水分析		農薬等分析	
	対象事業者数	調査回数	対象事業者数	調査回数
平成 19 年度	22	1~2	11	1~2
平成 20 年度	25	1~2	11	2
平成 21 年度	32	1~2	11	2
平成 22 年度	33	1~2	10	2
平成 23 年度	34	1~2	9	2
平成 24 年度	34	1~2	9	1~2
平成 25 年度	34	1~2	9	1~2
平成 26 年度	34	1~2	8	1~2
平成 27 年度	33	1~2	8	1~2
平成 28 年度	35	1~2	6	2
平成 29 年度	34	1~2	6	2
平成 30 年度	32	1~2	6	2
令和元年度	32	1~2	6	2

そ族昆虫駆除支援の状況

ハチ駆除用防護服の貸出実績

年 度	貸出件数	年 度	貸出件数
平成 19 年度	140	平成 26 年度	145
平成 20 年度	193	平成 27 年度	137
平成 21 年度	198	平成 28 年度	210
平成 22 年度	123	平成 29 年度	208
平成 23 年度	117	平成 30 年度	117
平成 24 年度	149	令和元年度	133
平成 25 年度	180		

## ○ 生活排水対策

## 生活排水処理アクションプログラムによる取組実績

年 度	内 容
平成 20 年度	策定準備を進めました
平成 21 年度	生活排水処理所管部署により策定事業を進めました
平成 22 年度	見直し案を策定し各地域の自治会役員等に説明を行いました
平成 23 年度	生活排水処理アクションプログラムを策定し、津市生活排水対策推進会議を経て、県へ報告しました。
平成 24 年度	県の生活排水処理アクションプログラムの公表を受け、公共下水道の計画区域から外れた地域内の団地の集中浄化槽について、聞き取り調査を実施する等、市への移管を目指した取り組みを進めました。
平成 25 年度	公共下水道計画区域外の地域における浄化槽整備について、行政が主体となって浄化槽を設置し維持管理を行う市町村設置型浄化槽の整備を基本とした生活排水対策事業（以下「市営浄化槽事業」という。）の概要を取りまとめました。また、同地域における団地の共同汚水処理施設の市への帰属について、対象団地の機能診断調査を実施し、その調査結果を基に、帰属に係る事業の概要を取りまとめました。
平成 26 年度	公共下水道計画区域外における浄化槽整備について、平成 27 年度より市営浄化槽事業を開始するため、関係自治会へ説明会を行うとともに、市営浄化槽条例を制定しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進めてきました。
平成 27 年度	公共下水道計画区域外における浄化槽整備について、平成 27 年度から市営浄化槽事業を開始しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進めてきました。
平成 28 年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進めてきました。
平成 29 年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進め、順次帰属を受けました。
平成 30 年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進め、順次帰属を受けました。
令和元年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進めてきました。

## 浄化槽設置整備事業補助金交付事業

津市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づく交付実績

年 度	区 分	件 数	金 額 (円)
平成 19 年度	5 人槽	167	58,404,000
	7 人槽	210	89,970,000
	10 人槽	7	3,836,000
	合 計	384	152,210,000
平成 20 年度	5 人槽	197	69,289,000
	7 人槽	177	74,618,000
	10 人槽	10	5,480,000
	合 計	384	149,387,000
平成 21 年度	5 人槽	190	67,705,000
	7 人槽	134	58,424,000
	10 人槽	7	3,836,000
	合 計	331	129,965,000
平成 22 年度	5 人槽	231	81,132,000
	7 人槽	151	63,586,000
	10 人槽	11	6,028,000
	合 計	393	150,746,000
平成 23 年度	5 人槽	182	64,300,000
	7 人槽	144	59,783,000
	10 人槽	8	4,880,000
	合 計	334	128,963,000
平成 24 年度	5 人槽	179	62,080,000
	7 人槽	109	45,794,000
	10 人槽	3	1,644,000
	合 計	291	109,518,000
平成 25 年度	5 人槽	188	46,808,000
	7 人槽	126	40,826,000
	10 人槽	9	3,836,000
	計	323	91,470,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲 33	2,970,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 151	9,060,000
	計	再掲 184	12,030,000
	合 計		103,500,000

平成 26 年度	5 人槽	184	37,188,000
	7 人槽	119	33,998,000
	10 人槽	4	1,782,000
	計	307	72,968,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲 36	3,240,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 139	8,340,000
	計	再掲 175	11,580,000
	合 計		84,548,000
平成 27 年度	5 人槽	110	16,928,000
	7 人槽	70	15,607,000
	10 人槽	5	1,920,000
	計	185	34,455,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲 26	2,340,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 61	3,660,000
	計	再掲 87	6,000,000
	合 計		40,455,000
平成 28 年度	5 人槽	92	13,680,000
	7 人槽	49	12,511,000
	10 人槽	5	1,510,000
	計	146	27,701,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲 19	1,710,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 50	3,000,000
	計	再掲 69	4,710,000
	合 計		32,411,000
平成 29 年度	5 人槽	82	11,600,000
	7 人槽	40	8,474,000
	10 人槽	1	548,000
	計	123	20,622,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲 20	1,800,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 34	2,040,000
	計	再掲 54	3,840,000
	合 計		24,462,000



平成 30 年度	5 人槽	69	11,004,000
	7 人槽	22	5,065,000
	10 人槽	1	548,000
	計	92	16,617,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲 14	1,260,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 31	1,860,000
	計	再掲 45	3,120,000
	合 計		19,737,000
令和元年度	5 人槽	62	8,184,000
	7 人槽	24	4,649,000
	10 人槽	1	548,000
	計	87	13,381,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲 10	900,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 20	1,200,000
	計	再掲 30	2,100,000
	合 計		15,481,000

**共同污水处理施設修繕工事補助金交付事業**

津市共同污水处理施設修繕工事補助金交付要綱に基づく交付実績

年 度	件 数	金 額 (円)
平成 19 年度	4	2,570,000
平成 20 年度	5	5,595,000
平成 21 年度	10	9,757,000
平成 22 年度	9	11,690,000
平成 23 年度	15	20,422,000
平成 24 年度	13	18,626,000
平成 25 年度	8	9,386,000
平成 26 年度	15	18,152,000
平成 27 年度	17	36,250,000
平成 28 年度	7	12,825,000
平成 29 年度	6	13,402,000
平成 30 年度	1	1,750,000
令和元年度	4	8,752,000

## (2) やすらぎを感じる生活空間の形成

## (2) やすらぎを感じる生活空間の形成

## ○ 緑の保全・創出と水辺環境の保全

津市緑化基金を活用した記念樹配布等実績

年 度	事 業 名		件 数
平成 20 年度	新築家屋記念樹配付事業		249
	生垣緑化用苗木配付事業		29
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	464
		出生	1,180
	緑化・美化運動事業		77
平成 21 年度	新築家屋記念樹配付事業		216
	生垣緑化用苗木配付事業		55
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	357
		出生	979
	緑化・美化運動事業		87
平成 22 年度	新築家屋記念樹配付事業		159
	生垣緑化用苗木配付事業		47
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	530
		出生	1,094
	緑化・美化運動事業		102
平成 23 年度	新築家屋記念樹配付事業		224
	生垣緑化用苗木配付事業		36
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	48
		出生	188
	緑化・美化運動事業		127
平成 24 年度	新築家屋記念樹配付事業		206
	生垣緑化用苗木配付事業		20
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	58
		出生	213
	緑化・美化運動事業		150
平成 25 年度	生垣緑化用苗木配布事業		29
	記念樹配布事業	新築	170
		結婚	73
		出生	220
		還暦	120
緑化・美化運動事業		153	

## (2) やすらぎを感じる生活空間の形成

平成 26 年度	生垣緑化用苗木配布事業		26
	記念樹配布事業	新築	199
		結婚	89
		出生	466
		還暦	198
緑化・美化運動事業		159	
平成 27 年度	生垣緑化用苗木配布事業		29
	記念樹配布事業	新築	165
		結婚	77
		出生	477
		還暦	118
緑化・美化運動事業		212	
平成 28 年度	生垣緑化用苗木配布事業		23
	記念樹配布事業	新築	144
		結婚	120
		出生	434
		還暦	162
緑化・美化運動事業		234	
平成 29 年度	生垣緑化用苗木配布事業		13
	記念樹配布事業	新築	165
		結婚	126
		出生	464
		還暦	153
緑化・美化運動事業		225	
平成 30 年度	生垣緑化用苗木配布事業		25
	記念樹配布事業	新築	132
		結婚	137
		出生	390
		還暦	93
緑化・美化運動事業		289	
令和元年度	生垣緑化用苗木配布事業		13
	記念樹配布事業	新築	157
		結婚	108
		出生	388
		還暦	181
緑化・美化運動事業		304	

## ○ 良好な景観の保全

## 景観法に基づく届出件数

年 度	件数
平成 26 年度 (7 月 1 日以降)	56
平成 27 年度	75
平成 28 年度	88
平成 29 年度	136
平成 30 年度	110
令和元年度	143

## デザインや色彩に関する助言を行った件数

年 度	件 数	
	※デザイン委員会	※景観アドバイザー
平成 20 年度	1	
平成 21 年度	4	
平成 22 年度	4	
平成 23 年度	3	
平成 24 年度	1	
平成 25 年度	5	
平成 26 年度	0	4
平成 27 年度	廃止	0
平成 28 年度		5
平成 29 年度		6
平成 30 年度		4
令和元年度		1

※市長が委嘱した専門家による公共施設や民間建築物に対する景観に関する助言及び相談を行う。

平成 26 年 6 月 30 日まではデザイン委員会、平成 26 年 7 月 1 日からは景観アドバイザーが助言を行う。

## 三重県屋外広告物条例による屋外広告物許可申請件数

年 度	区 分					
	はり紙・立看板	広告板・広告塔	広告旗	電柱等広告	横断幕・アドバルン	その他
平成 20 年度	78	2,238	59	7,576	48	610
平成 21 年度	57	2,128	20	7,912	6	756
平成 22 年度	18	2,343	20	7,173	8	671
平成 23 年度	17	2,092	17	6,167	20	765
平成 24 年度	11	2,102	0	5,611	8	760
平成 25 年度	11	1,954	0	5,935	4	531
平成 26 年度	9	1,758	0	5,327	8	836
平成 27 年度	9	2,337	0	5,152	29	284
平成 28 年度	9	2,302	0	4,888	7	5
平成 29 年度	6	1,468	20	5,197	4	1,158

(2) やすらぎを感じる生活空間の形成

平成 30 年度	11	1,579	61	5,120	6	930
令和元年度	6	1,889	182	4,831	4	146

## 市民の環境意識の向上

### ○ 環境に対する市民意識の向上

#### つ・環境フェスタ開催実績

年 度	開催日	場 所	出展者	来場者数 (人)
平成 19 年度	10 月 20 日	津市モーターボート競走場	80 団体	約 10,000
平成 20 年度	12 月 7 日	津市モーターボート競走場	108 団体	約 4,500
平成 21 年度	12 月 6 日	津市モーターボート競走場	101 団体	約 5,500
平成 22 年度	1 月 16 日	津市モーターボート競走場	87 団体	約 4,500
平成 23 年度	11 月 6 日	津市モーターボート競走場	75 団体	約 5,500
平成 24 年度	11 月 18 日	津市モーターボート競走場	70 団体	約 4,500
平成 25 年度	11 月 2 日	津市モーターボート競走場	75 団体	約 4,000
平成 26 年度	1 月 25 日	津市モーターボート競走場	83 団体	約 5,500
平成 27 年度	11 月 23 日	メッセウイング・みえ	96 団体	約 6,000
平成 28 年度	11 月 27 日	メッセウイング・みえ	85 団体	約 5,500
平成 29 年度	11 月 26 日	メッセウイング・みえ	83 団体	約 6,500
平成 30 年度	11 月 24 日	メッセウイング・みえ	107 団体	約 6,500
令和元年度	11 月 4 日	メッセウイング・みえ	103 団体	約 6,500

#### 市民清掃デー参加者実績

年 度	参加者数 (人)
平成 19 年度	約 52,000
平成 20 年度	約 54,000
平成 21 年度	約 53,000
平成 22 年度	約 60,000
平成 23 年度	約 55,000
平成 24 年度	約 58,000
平成 25 年度	約 60,000
平成 26 年度	約 67,000
平成 27 年度	約 66,000
平成 28 年度	約 69,000
平成 29 年度	約 69,000
平成 30 年度	約 71,000
令和元年度	約 71,000

## 環境だより発行状況（令和元年度発行実績）

発行日	掲 載 内 容
6月1日	環境の日(6月5日)、環境月間(6月)について 家庭でできるごみの減量 家電4品目の適正な処理方法 ごみ出しルール 布ぞうり講習会開催 津市安濃墓園・香良洲墓園の使用者募集
7月1日	環境イベント参加者募集 不法投棄をなくそう カラスによるごみ散乱防止対策 クールシェアについて 空き家の早期利活用のススメ
9月1日 (臨時号)	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」配信 大型家具などのごみ出しでお困りの人へ 散弾銃の弾はごみではありません
12月1日	年末年始の特別収集、ごみの搬入、し尿の汲み取りについて ごみ収集車の火災事故防止にご協力を 家電4品目の適正な処理方法 残さず食べよう「30・10」運動の実践について 空き家対策は予防、管理、利活用
3月16日	大量に出る引っ越しごみは各施設へ直接搬入を 津市で収集しないもの ごみ一時集積所の新設・変更・廃止について ごみ一時集積所補助金について 廃棄物の不法投棄について 道路上に動物の死骸を見つけたら 環境学習センターに遊びに行こう



こどもエコクラブ事業

こどもエコクラブ登録状況

年 度	登録団体数	会員数 (人)	サポーター数 (人)
平成 19 年度	115	702	212
平成 20 年度	25	385	59
平成 21 年度	6	78	14
平成 22 年度	7	117	17
平成 23 年度	8	129	20
平成 24 年度	3	11	6
平成 25 年度	6	28	15
平成 26 年度	7	20	12
平成 27 年度	8	36	14
平成 28 年度	5	37	13
平成 29 年度	6	22	12
平成 30 年度	6	26	13
令和元年度	8	28	16

## ○ 環境学習センターでの取組

## 講習会開催実績

年 度	内 容	実施回数 (回)	参加人数 (人)
平成 20 年度	布ぞうり講習会	27	78
平成 21 年度	布ぞうり講習会	19	77
平成 22 年度	布ぞうり・布花作り講習会等	14	175
平成 23 年度	布ぞうり講習会等	16	113
平成 24 年度	布ぞうり講習会等	21	182
平成 25 年度	布ぞうり講習会等	16	148
平成 26 年度	布ぞうり講習会、簡単リメイクソーイング教室等	45	326
平成 27 年度	布ぞうり講習会、簡単リメイクソーイング教室等	56	420
平成 28 年度	布ぞうり講習会、かぼちゃバッグ教室、親子竹細工教室、帯バック教室	32	255
平成 29 年度	布ぞうり講習会、アップリケバッグ教室、猫はんてん教室、シイタケ菌打ち体験	26	291
平成 30 年度	野鳥観察会&鳥の巣箱作り、布ぞうり講習会、手帳カバー教室、猫はんてん教室、シイタケ菌打ち体験	21	249
令和元年度	布ぞうり講習会、巾着袋教室等	17	217

## 講演会・イベント等開催実績

年 度	内 容	実施回数 (回)	参加人数 (人)
平成 20 年度	ドイツに学ぶエコライフ講演会	1	48
平成 21 年度	ごみ処理施設見学会	2	31
平成 22 年度	親子環境教室、ごみ処理施設見学会、 えこえこバザール等	4	350
平成 23 年度	ごみ処理施設見学会、えこえこバザール等	7	352
平成 24 年度	ごみ処理施設見学会、里山ウォーク等	4	437
平成 25 年度	ごみ処理施設見学会、竹林クリーンアップ、 えこえこバザール等	8	470
平成 26 年度	ごみ処理施設見学会、秋の森散策会、 えこえこバザール等	3	405
平成 27 年度	ごみのゆくえ探検、えこえこバザール	2	470
平成 28 年度	リサイクルセンターの見学会	61	1,945
平成 29 年度	リサイクルセンターの見学会	59	1,788
平成 30 年度	リサイクルセンターの見学会	47	1,746
令和元年度	リサイクルセンターの見学会	44	1,724

工房利用実績

年 度	利用場所	実施回数（回）	利用人数（人）
平成 28 年度	工房 A、B	96	615
平成 29 年度	工房 A、B	134	692
平成 30 年度	工房 A、B	120	666
令和元年度	工房 A、B	115	698

施設利用者数実績

年 度	施設利用者数（人）	
平成 20 年度	492	
平成 21 年度	726	
平成 22 年度	1,025	
平成 23 年度	943	
平成 24 年度	1,271	
平成 25 年度	1,250	
平成 26 年度	1,724	
平成 27 年度	1,795	
平成 28 年度	3,122	（一般見学者 307 人含む）
平成 29 年度	4,033	（一般見学者 227 人含む）
平成 30 年度	4,734	（一般見学者 122 人含む）
令和元年度	3,136	（一般見学者 118 人含む）